

昭和46年度

学校教育要覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 ☎81-7354



1374789

次に記した日までに返して下さい。

--	--

お問合せ・ご連絡は

中央図書館 } 電話代	81-7354
ひまわり号 } 電話	81-4744
多摩平児童図書館 電話呼	91-0493
高幡図書館 電話呼	82-2329
福祉センター図書館 電話呼	82-3136
社会教育センター図書館 電話呼	91-3773
平山児童図書館 電話呼	91-7001
百草台児童図書館	

K 10294

学校教育要覧

昭和46

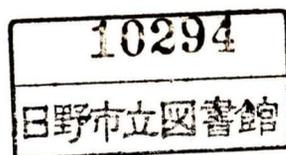
K10294

学校教育要覧

昭和46

目 次

◆ 昭和 46 年度指導目標	1 頁
◆ 日野市教育相談室	9
◆ 科学教育センター	11
◆ 指導主事分担一覧	12
◆ 年間指導計画	14
◆ 使用教科書	26
◆ 小中学校教科領域研究主任一覧表	27
◆ 日野市教育委員会事務局組織	29
◆ 日野市立幼稚園、小学校、中学校要覧	31



昭和46年度指導目標

人間尊重の精神を養い、広い国際的視野にたった国民的自覚を高めるとともに、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく健康で情操豊かな市民（都民でもあり国民でもある。）の育成をめざす教育を推進する。

特に本年度は、未来への展望にたつ教育の推進を図り、ひとりひとりの幼児・児童・生徒を伸ばす指導の徹底に努める。そのため、次の事項に重点をおく。

1. 学校経営における創意 くふう。
2. 教育内容の精選と指導方法の充実。
3. 教師と幼児・児童・生徒との心の交流。
4. 家庭・社会教育との連携

〔参考〕

東京都教育庁指導部 昭和46年度指導目標

人間尊重の精神を養い、広い国際的視野にたった国民的自覚を高めるとともに勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく、健康で情操豊かな都民の育成をめざす教育を推進する。

特に本年度は、未来への展望にたつ教育の推進を図り、教師と児童生徒との心の交流をいっそう深め、ひとりひとりを生かす指導の徹底に努める。

そのため次の事項に重点をおく。

1. 学校経営における創意くふう。
2. 教育内容、方法の現化。
3. 健康・安全のための環境改善。

☆ 小学校教育の方針

1. 学校経営、学級経営

- 1) 各学校の教育目標が学年学級を通じて児童の望ましい人間形成のために十分具現化されているが、学校経営全体の立場からこれを検討し、その改善をはかる。
- 2) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」などを活用して、いっそう学校経営における創意とくふうに努める。
- 3) 正常な学校運営に基づいて学年及び学級経営の充実をはかるとともに、学級担任教師は、その専門性と指導性の向上に努める。
- 4) 学級担任教師は、児童ひとりひとりの個性と能力について正しく理解するとともに、心の交流が十分行なわれるように配慮する。

2. 教育課程・学習指導法

- 1) 新しい教育課程の趣旨を正しく理解し、その編成に当たっては地域及び児童の実態に基づいて調和と統一がはかれるように努める。
- 2) 教育課程の実施に当たっては、教育の成果が児童のひとりひとりに正しく身につくよう万全を期する。
- 3) 学習指導に当たっては、目標の明確化、内容の精選、指導方法の刷新に努めるとともに、児童の学習態度が意欲的に育成されるようくふうし、また、その評価についてもあわせて研究する。
- 4) 学習環境を整備し、教材教具の活用について努めるとともに、効率の高い学習指導の方法について研究する。
- 5) 新指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、幼児教育及び中学校の教育課程との関連について考える。

3. 道徳教育・生活指導

- 1) 深く児童の心にふれあって、その徳性と社会性が正しく養われるように学校教育全体の中で計画的に適切な指導をする。
- 2) 生活指導の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくようにその組織及び方法について十分研究をする。
- 3) 生活指導と教科及び道徳の指導との連けいを深めるとともに、教育相談的方法の推進をはかり、あわせて学校教育相談の望ましいあり方について留意する。
- 4) 児童を通じて学校と家庭との連けいに配慮し、学校教育における正しい人間形成のあり方について家庭の理解を深める。

5) 学校の全教育活動の中で、教師が児童と一体となって道徳教育を進める。

4. 健康・安全教育

1) 児童の体力の向上に努めるとともに、心身の調和のある発達を期する。

2) 児童の生命尊重に万全を期し、強力な且効果的な安全指導を行なう。

3) 地域の実態に即し、交通安全教育の徹底をはかる。

4) 児童が健康で安全な生活が送れるよう保健及び安全教育の実践に努力する。

5. 情操教育・科学教育

1) つねに学校教育の全般を通じて、人間性に即した豊かな心情がつかわれるよう十分配慮する。

2) 読書指導の推進と視聴覚教材の活用に努める。

3) 科学的なものの見方、考え方を伸ばす教育の推進をはかる。

4) 科学教育を進展させる設備、器具の充実と、その効果的な利用について努める。

☆ 中学校教育の方針

1. 学校経営・学級経営

1) 学校経営に創意くふうをし、望ましい学校教育を推進する。

2) 学力を充実し、情操を培い、体力を養う等、生徒の望ましい人間形成をめざして、全教職員が一体となって指導に当たるように努める。

3) 学級担任教諭は、生徒個々をはあく理解し、心の交流が図れるよう配慮するとともに、教科担任教諭との連絡を密にし、学級経営の充実を図る。

4) 学年の中における学級担任相互の連絡を密にし、学年経営をくふうする。さらに学年相互の連絡がとれるよう努める。

5) 「学校評価基準」「学校経営の手びき」等の活用により学校経営の近代化を図る。

2. 教育課程・学習指導

1) 教育課程の編成に当たっては、地域・生徒の実態をふまえ、調和と統一のはかれるよう努める。

2) 移行措置については、移行措置要領を活用し、移行学年(1年, 2年)の移行に遺漏のないようにする。

3) 各教科・領域の指導に当たっては、指導のねらいを明確にし、指導内容の精選をはかり、指導法の改善につとめる。

4) 学習評価の研究をすすめ、能力、適性を生かすようつとめる。

- 5) 新指導要領の研究をすすめ、小学校教育課程との関連を図る。
 - 6) 教材・教具の効果的な活用につとめる。教育機器の利用についてもくふうし、学習指導の充実を図る。
3. 道徳教育・生活指導
 - 1) 学校の全教育活動の中で道徳教育を進める。
 - 2) 各教科、道徳、特別教育活動の中において生活指導の徹底をはかり、常に生徒と教師との心のふれあいに努める。
 4. 健康・安全教育
 - 1) 体育の時間はもちろん、クラブ活動、その他の教育活動を通して体力の増強をはかり、さらに保健指導の充実と相まって健康な生活ができるよう努める。
 - 2) 安全確保は学校で常に留意しなければならない。学習指導中における安全指導、校外における安全指導に一層努めるようにする。
 5. 情操教育、科学教育
 - 1) 人間性豊かな心情を養い、科学的態度を身につけるよう環境づくりに配慮する。
 6. 進路指導
 - 1) 個々の生徒の能力、適性をよくはあくし、それに応じられるように努める。

☆ 幼稚園教育の方針

1. 学級経営について創意くふうし、個々の幼児の理解につとめる。
2. 教育課程の編成に当たっては、地域・幼児の実態に基づき改善を図る。
3. 指導のねらいを明確にし、指導内容を検討し、指導法のくふうにつとめる。
4. 健康・安全の生活習慣を身につけるようつとめる。とくに交通安全について留意する。
5. 家庭との連絡を密にし、幼児の望ましい成長を図る。
6. 環境改善について工夫し、情操豊かに科学的態度の身につくよう配慮する。
7. 小学校との関連を配慮する。

☆ 研修活動

1. 教師の自主的研修の推進の方向につとめる。
2. 各学校において積極的に研修がすすめられるよう促すとともに研修内容の充実をはかる。
3. 東京都教育庁指導部、東京都立教育研究所および他郡市町との連携をはかる。

☆ 特殊教育

1. 特殊教育の意義について正しく理解するとともに、特殊学級への入級についての指導について万全を期する。
2. 児童・生徒の心身の障害に応じた指導の研究を深める。
3. 指導内容の精選と指導法の改善に努める。

☆ 学校訪問について

1. 趣 旨

学校訪問は指導主事が学校の教育活動の実態に直接触れることによって、学校の当面する教育指導上の実践的な諸問題をとらえて、その学校が持っている諸条件に基づいて、できるだけ実際の解決をはかり、あわせて日野市の全般的な教育活動をはあくして、指導行政の参考とするため実施するものである。昭和45年度は次の三方法にわけ、教育課程実施上の諸点について、教職員と協議懇談するところに重点をおく。

(1) 計画訪問

年間一度、学校教育課長、指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって指導助言する。

内容については ①校長の概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況の参観 ④教職員との協議懇談等を含むことができるが、その方法等については学校の希望によりきめる。

(2) 指導訪問

年間一度、計画訪問のない学期に指導主事が訪問し、学級経営・教科指導・道徳指導・生活指導その他について指導助言する。方法は学校の希望によってきめる。

(3) 要請訪問

各学校の要請に基づき指導主事が訪問し、指導助言する。各学校から要請が多くあることを期待する。

2. 計画訪問日程

- 5月10日(月) 日野第六小学校
- 5月24日(月) 日野第一小学校
- 6月14日(月) 平山小学校
- 6月24日(木) 日野第一中学校
- 6月28日(月) 第二幼稚園
- 7月 5日(月) 日野第三小学校
- 7月 9日(金) 日野第四小学校

9月16日(木) 潤徳小学校
10月15日(金) 百草台小学校
11月 5日(金) 日野第八小学校
11月10日(水) 第一幼稚園
11月12日(金) 日野第五小学校
11月17日(水) 日野第二中学校
11月22日(月) 日野第三中学校
11月26日(金) 七生中学校
12月 6日(月) 滝合小学校
12月13日(月) 第三幼稚園
2月 2日(水) 日野第二小学校

3. 指導訪問日程

4月28日(水) 第一幼稚園
5月14日(金) 日野第八小学校
6月 2日(水) 第三幼稚園
6月21日(月) 日野第二中学校
7月13日(火) 滝合小学校
9月13日(月) 日野第二小学校
9月23日(木) 日野第一中学校
9月29日(水) 第二幼稚園
10月21日(木) 日野第三小学校
10月25日(月) 日野第四小学校
11月 1日(月) 平山小学校
11月24日(水) 日野第六小学校
12月 3日(金) 日野第一小学校
1月17日(月) 日野第三中学校
1月20日(木) 百草台小学校
1月31日(月) 潤徳小学校
2月 4日(金) 七生中学校
2月10日(木) 日野第五小学校

☆ 研修計画について

1. 日野市研修会

(1) 学校経営研修会（8回）

校長・教頭・教務主任等を対象とし、幹部職員の資質の向上をはかる。

(2) 新任教諭研修会（11回）

新規採用教諭（経験1年未満を対象）に対し教職観、学習指導法、教材研究等の研修をし教職員としての使命感を培い、資質の向上をはかる。

(3) 実技研修会（3回）

小学校低学年担任教諭の音楽・図工・体育についての実技について研修し、指導力の充実をはかる。

(4) 幼稚園教諭研修会

幼児教育の重要性にかんがみ、幼児指導の理論及び方法を研修する。

(5) 婦人教諭研修会（1回）

婦人教諭のしめる率は年々増している。この際、婦人教諭のあり方について研修をすすめ、資質の向上をはかる。

(6) 道徳教育研修会（3回）

道徳指導の普及徹底をはかるため研修会を開く。

(7) 事務主事研修会（3回）

主査、事務主査、事務主事、主事の職務内容について研修し、実務に対する事務能力の充実をはかる。

(8) 教育相談研修会（年間23回）

教育相談員、教育相談研修員、教育相談に関心のある教諭を対象に毎月第二火曜、第三土曜に教育相談の方法、教育相談事例の扱い方について研修を行ない、教育相談についての正しい理解を深める。

☆ その他の事業について

1. 教務主任会（月例）

2. 生活指導連絡協議会（月例）

3. 音楽鑑賞教室

4. 小学校社会科副読本「わたしたちの日野」——3年生用——改訂（委託）

5. 小学校理科教材スライド「地層」作成——5年生用——（委託）

6. 中学校教科書採択
7. 小学校教育課程作成の手引き—— 道徳及び特活 ——（委託）
8. 中学校教育課程作成の手引き—— 十教科・道徳及び特活 ——（委託）
9. 小学校科学教育センター（六小）
10. 教育相談（教育相談室報発行も含む）
11. 研究委託
 - ① 研究協力校（小2 中1 幼1）……小・中各10万、幼5万
日野六小、日野八小、日野一中、二中、七生中、三中（協同研究）、三幼
 - ② 校内研究助成 1校 1万5千円
 - ③ 個人研究（1人 6,000円×50人）
 - ④ 派遣研究（1人 1万円×30人）

日野市教育相談室

☆ 設置の趣旨

日野市内における幼児・児童・生徒（高校生も含む）を対象に、学校および家庭において主として学習意欲、能力、生活態度につき、保護者又は担任教諭が教育上望ましくない事を見出した場合、相談に応ずることを設置の趣旨としている。

☆ 構成

相談室長 松本 武（日野市教育委員会学校教育課長）

教育相談員

末 継 逸 夫（日野一小教諭）	長 浜 和 子（日野八小教諭）
山 内 春 美（日野三小教諭）	井 村 章 三（日野一中教諭）
上 野 森 良（日野四小教諭）	鈴 木 良 身（日野二中教諭）
井 尻 武 子（日野五小教諭）	上 野 美 津 枝（日野一幼教諭）
広 沢 フサ子（日野六小教諭）	小柳津 芳 子（日野市教育委員会）
市 川 忝 子（潤徳小教諭）	

教育相談研修員

関 本 宗 代（日野一小教諭）	小笠原 本 江（滝合小教諭）
辻 田 静 江（日野一小教諭）	川 上 美 穂 子（滝合小教諭）
落 合 茂 子（日野三小教諭）	八 木 利 子（日野一中教諭）
津 金 久 子（日野三小教諭）	平 向 邦 江（日野一幼教諭）
水 上 由 美 子（日野五小教諭）	石 川 和 子（日野一幼教諭）
川原田 和 子（潤徳小教諭）	石 塚 博 子（日野三幼教諭）
中 村 由 久 枝（平山小教諭）	

担当指導主事 小 貫 隼 男

顧 問 佐 藤 正（東京学芸大学教授）

小 諸 ハル子（都立精神衛生センター梅が丘分室長精神医）

☆ 運 営

保護者の直接又は、保護者及び担任教諭による各校（幼、小、中）の学校教育相談係を通じての申込みにより毎週火、木（8月を除く）の2回、教育相談員が2名1組となって相談に応じている。（午後1時30分より4時まで）申込みは無料で受付けている。

- 場 所 A, 教育委員会内教育相談室(遊戯室あり)
 B, 中央公民館内小会議室
 C, 日野市立第三幼稚園
- 申込み先 日野市教育委員会学校教育課内日野市教育相談室

(TEL 81-3511 内線48)

教育相談事務担当 岩波 淑子 (月~土)
 小柳津 芳子 (火・木)

○教育相談概況

申込み件数	81件
面接延回数	162回

主訴別件数	幼 児	児 童	生 徒	計
登園、登校拒否	1	1	0	2
集団に入れない	0	1	0	1
落ちつきがない	0	1	0	1
いたずら、らんぼう	0	1	0	1
ぬすみ、嘘言	0	2	0	2
神 経 症	0	2	0	2
身 体 虚 弱	3	0	0	3
難 聴	0	1	0	1
就学児精密検査	0	25	0	25
特殊学級入級等	1	12	1	14
就学・進学	1	19	1	21
営 業 不 振	0	6	1	7
家庭環境問題	0	1	0	1
計	6	72	3	81

☆ 教育相談員の研修

教育相談員の資質と教育技術の向上のため、毎月第二火曜相談事例研究、第三土曜に研修会(顧問の先生が指導)を開いている。研修会には、日野市公立学校教職員なら誰でも参加してさしつかえないことになっている。

☆ 特殊学級との関係

日野第三小学校と日野第一中学校に併設されている特殊学級へ児童、生徒の入級希望があった場合、教育相談室においては、入級判別のための知能テストを行なうことになっている。この知能テストの結果は入級判別の資料として、日野市特殊学級入級選考委員会において扱い、判別会議を行なった上で入級を決めている。

科学教育センター

目的

公立小中学校における、科学教育の振興を図るために、児童・生徒の科学的及び能力の向上と、同教職員の理科の指導についての資質を高める事業を行なう。

◎日野市小学校科学教育センター

- ・所在地 日野市立日野第六小学校内
- ・センター長 新海圭三（日野市立日野第六小学校長）
- ・センター児童数

校名	一小	二小	三小	四小	五小	六小	八小	潤徳小	平山小	百草台小	滝合小	合計
男	3	3	2	3	6	2	1	2	2	2	1	27
女	1		1			3	1	2			1	9
計	4	3	3	3	6	5	2	4	2	2	2	36

・指導員

1	松日楽敬治	三小	11	谷口いづみ	六小
2	前田誠一郎	四小	12	柳沼 敏男	八小
3	福地 保	五小	13	堀越 邦昌	平山小
4	岡部 秀夫	〃	14	新沼 英樹	潤徳小
5	和田 国平	六小	15	土方 邦男	〃
6	江口 耕一	〃	16	川上 卓一	〃
7	永井 一郎	〃	17	小山田 稷	〃
8	長田 正夫	〃	18	成井 朝雄	滝合小
9	原 祐房	〃	19	村越 正	〃
10	安藤 愛子	〃	20	渋谷 義一	百草台小

○市担当指導主事 五十嵐邦享

・事業

5月15日の開講式より2月26日の閉講式まで27回にわたり、土曜の2時～4時、

・こまかくみる ・そくていする ・グラフであらわす ・すいそくする ・ぶんる
いする ・せいさくするにわけ、一斉指導をする。そのほか自由研究、製作、見学、
採集等の実地指導も行ない、年度末には研究発表会を行なう。

指導主事分担一覽

指導主事 小 貫 隼 男
指導主事 五十嵐 邦 享

1. 校種別分担

小学校教育	小 貫	中学校教育	五十嵐
幼稚園教育	小 貫		

2. 教科領域別分担

国語(含書写)	小 貫	学級経営	小 貫
社 会	小 貫	教育相談	小 貫
算数・数学	五十嵐	特殊教育	小 貫
理 科	五十嵐	視聴覚教育	五十嵐
音 楽	小 貫	放送教育	五十嵐
図工・美術	小 貫	図書館教育	小 貫
体育・保健体育	五十嵐	学校給食	小 貫
家庭・技術家庭	小 貫	保健教育	五十嵐
外国語(英)	五十嵐	安全教育	五十嵐
道 徳	五十嵐	進路指導	五十嵐
生活指導	五十嵐	幼児教育	小 貫
特別教育活動	五十嵐	学校事務	小 貫
学校行事等	小 貫		

3. 施設分担

教育相談室	小 貫	文化行事	小 貫
特殊学級	小 貫	体育行事	五十嵐
科学教育センター	五十嵐	夏季施設	小 貫
教科書センター	五十嵐		

4. 指導事務分担

指導部・都研研修	小 貫	研究紹介 連絡	小 貫
研究員・研究生	小 貫	指 導 要 覧	小貫・五十嵐
教育課程届出承認	小 貫	「日野の教育」	小貫・五十嵐
教育課程研究集会	小 貫	月行事予定	五十嵐
研 究 集 録	五十嵐	教 育 実 習	五十嵐
学 校 訪 問	小 貫	研 究 協 力 校	小 貫
教材届出承認	五十嵐	委 託 研 究	小 貫
遠足・修学旅行承認	小 貫	派 遣 研 究	小 貫
調査資料収集	小 貫	研 究 奨 励 費	小 貫

5. 渉外分担

校 長 会	小貫・五十嵐	多摩主事会	小 貫
教 頭 会	小 貫	市指導主事会	五十嵐
教務主任会	小 貫	八町日南連絡会	小 貫
生活指導連絡協議会	五十嵐	日野市教研	小貫・五十嵐

6. 研修分担

学校経営研修会	小貫・五十嵐	音楽実技研修会	小 貫
新任教諭研修会	小 貫	道徳教育研修会	五十嵐
婦人教諭研修会	小 貫	特殊教育研修会	小 貫
幼稚園教諭研修会	小 貫	生活指導研修会	五十嵐
体育実技研修会	五十嵐	事務主事研修会	小 貫
図工実技研修会	小 貫	教育相談研修会	小 貫

7. 研究協力校分担 小貫・五十嵐

年 間 指 導 計 画

(4 月)

日	曜	市	都
1	木		部内会・課会
2	金		
3	土		教科会
4	(日)		
5	月		部内会・主査会
6	火		専門委員会
7	水		
8	木		
9	金	新任教諭研修会(オリエンテーション)	
10	土		地区教委訪問・学区担当打合会
11	(日)		
12	月		部内会・課会
13	火	社会科副読本作成委	生活指導担当指導主事宿泊協議会
14	水		
15	木	学校教育相談研	
16	金		教育研究員総会
17	土		地区教委訪問・学区担当打合会
18	(日)		
19	月	校長教頭研修会(市)	部内会・主査会
20	火	新任教諭研(地域研究)	中・編成要領説明会
21	水		指導連絡協議会
22	木	教務主任会	中・編成要領説明会
23	金		”
24	土	教育相談研	学校訪問協議会
25	(日)		
26	月		部内会・課会
27	火	生活指導連絡協議会1. 小学校理科教材委	特殊編成要領総会・幼教研運営委総会 学校評価基準総会・中指導要録総会
28	水	☉ 一幼	中・編成要領説明会
29	☺	(天皇誕生日)	
30	金	体育実技研	実験学校総会

(5 月)

日	曜	市	都
1	土		
2	(日)		
3	㊦	(憲法記念日)	
4	火	教育工学研修会	部内会・主査会
5	㊧	(こどもの日)	
6	木	移動教室実踏(真鶴)	教育工学調査委総会 中教育課程届出改訂委総会
7	金	教育研究員地区総会	性教育総会・高HR指導の手引き総会
8	土		学区担当打合せ
9	(日)		
10	月	㊨ 六小	部内会・課会
11	火	教育相談研	小教育課程資料作成委総会
12	水		指導連絡会・幼担当指導連絡会
13	木	学校経営研 1.	道徳教育助言者研修会 小長期休業中の実態調査委総会
14	金	㊩ 八小 副読本改訂委	高要領部長会・中教研運営委員会
15	土	小学校科学センター開講式(六小)	特殊教育地区推進委
16	(日)		
17	月		部内会・教科会・道徳教育助言研修会
18	火	音楽実技研修会・日光移動教室実踏	主査・教科主任合同打合せ
19	水	市教研総会 "	
20	木	学校経営研修会 "	
21	金	新任研(国)	生活指導連絡会
22	土	教育相談研・学校給食会総会	
23	(日)		
24	月	㊪ 一小	部内会・主査会
25	火		道徳教育助言者研修会 生活指導主任世話人協議会
26	水	幼稚園研	学校訪問
27	木		主査教科主任打合せ 特殊担当指導連絡会
28	金	教務主任会	地区別学区別生活指導主任協議会
29	土		新任指導
30	(日)	運動会(三小)	
31	月	音楽鑑賞教室打ち合わせ会	部内会・課会

(6 月)

日	曜	市	都
1	火	書写実技研 1. 副読本改訂委	新任指導主事研修会
2	水	㊦三幼	学校訪問
3	木	生活指連	専門委員会・幼教研都大会
4	金	学校経営研修会	指導連絡協議会
5	土		特殊教育推進委
6	(日)		南多摩地区科学センター開講式 (八王子五中)
7	月	真鶴移動教室(一小・四小)㊦潤徳小	部内会・領域打合会
8	火	”(五小) 教育相談研	幼教育研究協議会
9	水	”(六小・平小・滝小)	学校訪問
10	木	”(潤小・八小・百小)㊦五小	生活指導連絡会・教育課程研究地区集会
11	金	”(二小・三小)㊦三中	学校訪問
12	土		学区担当打合会
13	(日)		
14	月	㊦平山小	部内会・課会
15	火	中教科書採択委総会・教務主任会	高生活指導研究協議会(校長・頭・定主)
16	水		学校訪問
17	木		生活指導主任世話人協議会(小・中) 宿泊
18	金		
19	土	教育相談研・教務主任宿泊研修会	
20	(日)	運動会(一中)	
21	月	㊦二中	部内会・主査会
22	火	図工実技研・中学校林間学校実践(ハケ岳)	学区別生活指導主任協議会 島嶼生活指導研究集会
23	水		学校訪問・養護学園訪問
24	木	㊦一中・道徳研修会	
25	金	書写実技研 2. 小学校理科スライド「地層」作成委	
26	土		
27	(日)		
28	月	㊦二幼 学校教育相談連絡協議会	部内会・課会
29	火	日光移動教室(一・三・四・八・潤・百小)	
30	水	”	学校訪問

(7 月)

日	曜	市	都
1	木	日光移動教室(二・五・六・平・滝小)	
2	金	〃	指導連絡協議会
3	土	〃	特殊教育推進連絡協議会
4	(日)		
5	月	㊦ 三小	部内会・教科会
6	火	事務主事研修会・教育相談研	学校訪問
7	水		生活指導連絡会 中高生活指導主任連絡協議会
8	木	新任教諭研(算)生活指導連絡協議会	学校訪問
9	金	㊦ 四小	
10	土	教育相談研	学校訪問協議会
11	(日)		
12	月	小理スライド「地層」作成委 図書館主任連絡協議会	部内会・主査会・中高生指連
13	火	㊦ 滝合小	
14	水		
15	木	学校経営研修会	
16	金		学区担当打合会
17	土		訪問学級連絡協議会
18	(日)		
19	月		部内会・課会
20	火		
21	水		
22	木	中・林間学校・新任教諭研(教育相談)	㊦ 六小・百草台小・三中
23	金	㊦ 滝合小	
24	土	副読本改訂委	
25	(日)		
26	月		
27	火	㊦ 一幼・二小・二中	
28	水	教育相談研修員研修会	
29	木	〃 市内巡検	㊦ 二幼・四小・潤徳小・平山小・八小
30	金	㊦ 三幼・一小・一中	
31	土	小理スライド「地層」作成委 ㊦ 三小	

(8 月)

日	曜	市	都
1	(日)	中・林間学校	
2	月	⑧ 七生中・二小	主査会
3	火	⑧ 一小・滝合小・平山小・六小・五小	
4	水		
5	木		
6	金	小学校科学センター宿泊研修会(八ヶ岳)	
7	土		
8	(日)		
9	月		
10	火		特殊・教研集会
11	水		
12	木	⑧ 二幼・三幼・五小・一中	
13	金	⑧ 潤徳小・八小・百草台小	
14	土	教務主任会	
15	(日)		
16	月		
17	火	教育相談宿泊研修会	
18	水	事務主事宿泊研修会(奥多摩)	
19	木	小理スライド「地層」作成委 ⑧ 三小	
20	金	⑧ 一幼・二中・三中	
21	土		学区担当打合せ
22	(日)		
23	月		教育研究員 御岳集会
24	火	⑧ 四小・七生中	(高)
25	水		
26	木		(中)
27	金	音楽鑑賞教室打ち合わせ会	高・生徒指導連絡協議会(校長)
28	土		(小)
29	(日)		
30	月		
31	火		

(9 月)

日	曜	市	都
1	水		部内会・課会
2	木	音楽鑑賞教室打ち合わせ会	専門委員会
3	金	水泳記録会・副読本改訂委	
4	土		訪問学級連絡協議会
5	(日)		
6	月		部内会・主査会
7	火	副読本改訂委	生活指導主任世話人協議会
8	水		
9	木	音楽鑑賞教室	
10	金		生活指導連絡会
11	土		学区担当打合せ・訪問学級連絡協議会
12	(日)		
13	月	☉ 二小	部内会・教科会
14	火	教育相談研	
15	☾ (敬老の日)		
16	木	☉ 潤徳小	
17	金	教務主任会	指導連絡協議会
18	土	教育相談研	
19	(日)		
20	月		部内会・課会
21	火		学区別生活指導主任協議会
22	水		学校訪問
23	木	☉ 一中	高・教務主任研修会
24	☾ (秋分の日)	運動会(一小)	
25	土		
26	(日)	運動会 (五小・六小・潤徳小・平山小・八小)	
27	月	新任教諭研(理科)	部内会・主査会
28	火	副読本改訂委	地区別生活指導主任協議会
29	水	☉ 二幼	学校訪問
30	木		特殊担当指導連絡会

(10 月)

日	曜	市	都
1	金	(都民の日)	
2	土		
3	(日)	運動会 (一幼・四小・百草台・滝合・七生養護)	
4	月	新任教諭研(道徳)	部内会・課会
5	火	学校経営研	
6	水		学校訪問
7	木	図書館主任連絡協議会	
8	金	学校図書館研修会	生活指導連絡会
9	土		学区担当打合会
10	(日)	(体育の日)	
11	月	音楽鑑賞教室打ち合わせ会	部内会・主任会(教科)
12	火	教育相談研	
13	水		学校訪問
14	木	教務主任会	生活指導主任世話人協議会
15	金	⑩ 百草台小	学校訪問
16	土	運動会(二幼)	指導連絡協議会
17	(日)	運動会(七生中・三中)	
18	月		部内会・課会
19	火	副読本改訂委	
20	水		学校訪問
21	木	⑪ 三小 生活指導主任宿泊研修会	学区別生活指導主任協議会
22	金	給食試食会 ↓	
23	土	教育相談研	
24	(日)		
25	月	⑫ 四小	部内会・主査会
26	火		島嶼道徳研修会
27	水	市教研体育実技研修会	養護学園訪問
28	木	小理スライド「地層」作成委	学校訪問・幼教研都大会
29	金		
30	土		
31	(日)		

(11 月)

日	曜	市	都
1	月	㊦ 平山小	部内会・課会
2	火		指導連絡協議会
3	㊦	(文化の日)	
4	木	幼稚園研	専門委員会
5	金	㊦ 八小 副読本改訂委	学校訪問
6	土		
7	(日)		
8	月	↓ 新任教諭宿泊研(御岳)	部内会・主査会
9	火	↓ 教育相談研	幼・指導連絡会
10	水	㊦ 一幼	学校訪問
11	木	教務主任会・生活指導連絡協議会	生活指導連絡会
12	金	㊦ 五小 一般訪問 一中	学校訪問
13	土		
14	(日)		
15	月		部内会・教科会
16	火		小教研都集会 生活指導主任宿泊研究協議会(高・特)
17	水	㊦ 二中	↓ 小教研都集会
18	木		" 心身障害児判別講習会
19	金		
20	土	教育相談研	
21	(日)		
22	月	㊦ 三中	部内会・課会
23	㊦	(勤労感謝の日)	
24	水	㊦ 六小 事務主事研修会	小教研都集会
25	木		学校訪問
26	金	㊦ 七生中	中・教研都集会
27	土		
28	(日)		
29	月	学校経営研・新任研(特殊教育)	部内会・主査会
30	火		中・教研都集会

(12 月)

日	曜	市	都
1	水		学校訪問
2	木	指 一小	中 教研都集会
3	金	研究協力校発表(八小)	学校訪問
4	土		
5	(日)		
6	月	指 滝合小	部内会・課会
7	火	教育相談研・教務主任研修会	地区別生活指導主任協議会 幼 教研全国大会
8	水		学校訪問
9	木	新任研(家庭)	
10	金		生活指導連絡会
11	土		学校訪問協議会
12	(日)		
13	月	指 三幼	部内会・領域打合会
14	火	生活指連	
15	水		
16	木		指導連絡協議会
17	金		
18	土	教育相談研	
19	(日)		
20	月		部内会・主査会
21	火		
22	水		学区担当打合会
23	木		
24	金		
25	土		
26	(日)		
27	月		部内会・課会
28	火	(仕事納め)	
29	水		
30	木		
31	金		

(1 月)

日	曜	市	都
1	⊕	(元 日)	
2	(日)		
3	月		
4	火	(仕事 始め)	
5	水		部内会・課会
6	木		
7	金		
8	土		
9	(日)		
10	月		部内会・主査会
11	火	教育相談研	生活指導連絡会
12	水		専門委員会
13	木	新任研(社会)	
14	金	生活指導	中指導要録作成委員総会
15	⊕	(成人 の 日)	
16	(日)		
17	月	指 三中	部内会・課会
18	火		指導連絡協議会
19	水		学校訪問
20	木	指 百草台小	
21	金		生活指導世話人協議会
22	土	教育相談研	学区担当打合せ
23	(日)		
24	月		部内会・主査会
25	火	新任研(特活)	中・指導要録説明会
26	水		学校訪問
27	木	学校経営研	中・指導要録説明会
28	金	事務主事研	" 特殊担当指導連絡会
29	土		
30	(日)		
31	月	指 潤徳小	

(2 月)

日	曜	市	都
1	火		生活指導主任研究発表会(多摩)
2	水	㊦ 一般訪問 二小	学校訪問
3	木	婦人教諭研修会	
4	金	㊦ 七生中	生活指導主任研究発表会(高・特)
5	土		学校訪問協議会
6	(日)		
7	月		部内会・課会
8	火	教育相談研	生活指導主任研究発表会(小)
9	水		学校訪問 養護学園等訪問
10	木	㊦ 五小	中教育課程届出説明会
11	金	(建国記念の日)	
12	土		指導連絡協議会
13	(日)		
14	月	生活指連	部内会・主査会
15	火	教務主任会	生活指導主任研究発表会(中)
16	水		幼・教育研究協議会
17	木		特殊編成要領説明会
18	金		生活指導連絡会・特殊教研集会
19	土	教育相談研	学区担当打合せ
20	(日)		
21	月	新任研(評価)	部内会・課会
22	火	学校経営研	
23	水		
24	木	音楽鑑賞教室打ち合わせ会	
25	金		幼・担当指導連絡会
26	土		
27	(日)		
28	月		部内会・主査会
29	火		道徳教育助言者連絡協議会

(3 月)

日	曜	市	都
1	水		専門委員会
2	木		教育研究員選考
3	金		
4	土		
5	(日)		
6	月		部内会・課会
7	火		高・HR指導の手引委総会
8	水		
9	木	教務主任会	
10	金		生活指導連絡会
11	土	教育相談研究発表会	
12	(日)		
13	月		部内会・主査会
14	火		
15	水		
16	木	特殊入級選考委	
17	金		
18	土		
19	(日)		
20	㊿	(春分の日)	
21	火		部内会・課会
22	水		
23	木		指導連絡会
24	金		
25	土		学区担当打合せ
26	(日)		
27	月		部内会・課会
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

使用教科書

1. 小学校

国語科	「小学新国語」(光村図書) 「標準書き方」(教育出版) 「標準書き方毛筆」(教育出版)
社会科	「小学社会」(日本書籍) 「新しい社会科地図」(東京書籍)
算数科	「標準算数」(教育出版)
理科	「新しい理科」(東京書籍)
音楽科	「〇年生の音楽」(教育芸術)
図画工作科	「図画工作」(開隆堂)
家庭科	「小学校家庭科」(開隆堂)

2. 中学校

国語科	「新訂中学国語」(教育出版) 「新訂中学習字」(教育出版)
社会科	「中学社会 日本の国土と世界」(清水書院) 「中学社会 日本の歴史と世界」(清水書院) 「中学社会 日本の社会と世界」(清水書院) 「中学社会科地図」(帝国書院)
数学科	「中学校数学」(学校図書)
理科	「新訂新しい科学」(東京書籍)
音楽科	「新訂中学生の音楽」(教育芸術) 「新訂標準中学生の音楽」(教育出版)
美術科	「美術」(日文)
保健体育科	「標準中学保健体育」(講談社)
技術家庭科	「新訂標準技術家庭」 男子用・女子用(教育出版)
外国語科	New Horizon English Course (東京書籍)

小中学校教科・領域・研究主任一覧表

	日野一小	日野二小	日野三小	日野四小	日野五小	日野六小	潤徳小	平山小	日野八小	百草台小	滝合小	日野一中	日野二中	七生中	三 中
教 務	上江洲信七	松井 慶吾	松日楽敬治	渡辺 芳郎	中川 金作	梅田 茂	辻田 六郎	堀越 邦昌	飯田 幸次	渋谷 義一	伊藤 恵造	河野 寿忠	井田 武	田端 七郎	畔蒜 健一
生 活 指 導	上山洋一郎	合田 嘉定	戸塚 春男	大熊 喜一	大竹 三郎	岩尾 照夫	清水 七郎	白川 茂一	佐藤 章吾	肥高 重男	橋本 清	飯島 利三	西川 利行	鈴木 清司	鈴木 幸子
研 究	黒田 弘行	石岡 信行	広瀬 邦夫	杉本 瑛之	小板橋五佐男	岩尾 照夫	天野 七郎	堀越 邦昌	柳沼 敏男	村松 徹二	鳥飼 政喜	御子柴昭治	秦 好一	天野 義男	東郷 隆盛
国 語	畠中 巽	石井 三士	高野 浩	高倉 教行	柴田 静枝	江口 耕一	田森 佈詮	石井 富蔵	近藤 正晴	藤田 孝彦	西田 敦子	五十嵐公恵	佐藤 イサ	山辺 文男	吉田 克巳
社 会	越村 清治	合田 嘉定	広瀬 邦夫	亀山恵之助	中村 大	佐藤 征男	吉野美和子	白川 茂一	佐藤 章吾	阿部 真次	山口 武彦	山浦 宏	黒沢谷五郎	天野 義男	持田 友宏
算 数・数 学	青柳 俊夫	河島 務	橋本美千代	日下部芳子	藤崎 健児	安藤 愛子	天野 七郎	会田 尚子	飯田 幸次	斉藤 茂	溝口 達男	山川 昭子	海江田松子	水谷 晶子	鈴木 幸子
理 科	黒田 弘行	倉石 桂	松日楽敬治	鹿島田恭江	岡部 秀夫	永井 一郎	新沼 英樹	堀越 邦昌	柳沼 敏男	渋谷 義一	村越 正	渡辺 和則	稲川 正義	田中 憲助	長島 寿平
音 楽	高橋 晴彦	河原田桂子	森 甫	村田邦智子	小林貴美子	藤野 祥子	村上 悦子	内山美知子	森川 琉子	稲垣 昌子	山村 英吾	阿部 敬	西村美紗子	大宅 寛	河野 裕香
図 工・美 術	酒井 栄一	鶴田久美子	戸塚 春男	渡辺 芳郎	本荘 正雄	長沢 和子	辻田 六郎	徳永 照子	小島 シズ	佐藤カズ子	鳥飼 政喜	逸見 敏	小畑 亮	阿部 晃一	佐藤 恒
体 育・保 健体 育	末継 逸夫	信夫 清彦	大上 琢磨	雨宮 一好	渡辺 孝雄	長田 正夫	須藤 貞雄	和田 文雄	内藤 康	安田 春信	成井 朝雄	阿藤 貞夫	千田 正之	山本 矢一	北原 景昭
家 庭・技 術家 庭	奈良 悦子	石川 正子		古谷二三子	林 茂子	当間 糸子	大塚 清子	岩井 豊子	長田 裕子	中村 笙子	河村 順子	飯島 利三	(男)鈴木良身 (女)萩原典子	(男)田端七郎 (女)松本節子	(男)畔蒜健一 (女)佐藤寿枝
英 語												大山 正昭	西川 利行	宮沢 利雄	内藤由紀子
道 徳	村上 澄江	松井 慶吾	杉本 升彦	川崎 照子	中川 金作	和田 国平	石井 和子	川上 昇一	平山 毅	根上 節子	清水 輝夫	山浦 宏	黒沢谷五郎	田端 七郎	東郷 隆盛
特 別 活 動	青柳 俊夫	石岡 信行	井上 保	亀山恵之助	赤池 正人	藤本 憲康	清水 七郎	白川 茂一	荒尾 浩子	藤田 孝彦	川井 龍介	井村 章三 学活 渡辺和則		山辺 文男	佐藤 恒
学 校 行 事	青柳 俊夫	松井 慶吾	松日楽敬治	仲二見洋子	三浦 勝也	梅田 茂	香川 善平	堀越 邦昌	森川 琉子	藤田 孝彦	伊藤 恵造	河野 寿忠		田端 七郎	畔蒜 健一
学 校 教 育 相 談	三村 礼子	河島 務	山内 晴美	上野 森良	水上由美子	広沢フナ子	市川 忞子	中村由久枝	長浜 和子	石川 耀子	小笠原本江	飯島 利三	鈴木 良身	鈴木 清司	鈴木 幸子
進 路 指 導												羽生 幸一	渡辺 勉	田中 憲助	持田 友宏
視 聴 覚	酒井 栄一	河原田桂子	吉野 和夫	宮沢美恵子	額 美都子	清水しづか	和田いさを	吉川 郁子	長田 裕子	阿部 真次	塚本 純子	大山 正昭	成瀬 二郎	明石 敏春	長島 寿平
学 校 図 書 館	辻田 静江	高島 和子	井上 保	高倉 教行	中島 祐子	当間 糸子	坂井 和子	赤松 紀子	伏見 安江	萩沢モト子	渡辺 かほ	宇津木十四男	石田 洋子	阿部 晃一	東郷 隆盛
給 食	前川 せつ	赤石 享	橋本美千代	舞田 章子	関根 敦子	高田 敏	斉藤 イク	岩井 豊子	麟 由子	斉藤 茂	熊谷 三起	森田 寿子	海江田松子	田代 拳	
安 全 教 育	土田 芳夫	合田 嘉定	戸塚 春男	杉本 瑛之	大竹 三郎	斉藤八重子	清水 七郎	関 恒夫	円谷雅之助	肥高 重男	橋本 清	市塚 正史	小畑 亮	鈴木 清司	吉田 亮巳
保 健(主 事)	今野みち子	鈴木 ナヲ	安斉満里子	川崎 照子	内藤まつ代	和田 国平	進 真郎	和田 文雄	近藤 正晴	幸野 嘉子	清水 輝夫	阿藤 貞夫	柳井佐和子	大宅 寛	北原 景昭
養 護	松井 玉江		高橋 陸	時女 久子	富樫 容子	上山美智子	細井 聖子	鈴木とよ子	伊佐 弘江	佐々木加津子	宇田川佳子	小谷 澄江	勝部 節子	大塚 和子	
管 材	石田 義一	倉石 桂	本保 陽子	杉本 瑛之	小俣 政治	黒沢 保雄	小笠原康夫	小島 義之	郷原 敦	川北喜美雄		武藤 保		飯 キミ	佐藤 博助
事 務	石田 義一	大野 馨	田沢 豊彦	川口 真弓	川崎 浩	広池 誠	橘田 晟	小島 義之	郷原 敦	川北喜美雄	高島 幸夫	武藤 保	中根 健五	飯 キミ	佐藤 博助

日野市教育委員会事務局組織



（指導主事の事務分担は本文中に示す）



園名 日野市立第一幼稚園
所在地 日野市多摩平4-3
電話 0425-81-4124
順路 豊田駅より北へ約10分

園長氏名 江角正子

主任氏名 樋山欣子

1. 沿革の概要

昭和40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として
設置さる。学級7 定員
280名、職員教諭8名、用
務員1名、
園敷地360㎡、園舎777㎡
プレハブ1棟

昭和40. 4. 10 開園 園児280名
5. 25 創立記念日とす
5. 30 園章制定

昭和41. 3. 19 第一回修了児 119名

昭和42. 3. 18 第二回修了児 191名

昭和42. 12. 20 鳥小屋完成

昭和43. 3. 19 第三回修了児 197名

昭和43. 9. 6 プール第一次計画完成
(中庭)

昭和43. 12. 20 ホール増築完成

昭和44. 2. 10 プール第二次計画完成
(プールサイド、シャワー)

昭和44. 3. 20 第四回修了児 224名

昭和45. 3. 20 第五回修了児 195名

昭和45. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増
設工事完成

昭和45. 7. 15 運動場拡張完成

昭和45. 7. 15 園塀ブロック金網塀に改装
完成

昭和46. 3. 20 第六回修了児 228名

2. 歴代園長

氏名 年月 ~ 年月
江角正子 昭和40.4.1~45.4.1

3. 地域の環境

住宅地、公園等にかこまれ静かである。
団地内には広場、公園など子どもたちのあ
そび場所もあるが充分とは言えない状態
である。甲州街道が近く、また団地内での自
家用車が多く交通量は年毎に増え、ひんぱ
んに交通事故なども聞かれる。

4. 教育目標

- (1) 丈夫なからだで明るい心の子
- (2) 情操豊かで創造力のある子
- (3) 基本的な生活習慣を正しく身につけた
子
- (4) 社会的、道徳的態度を身につけた子

5. 本年度の研究

- (1) 個人研究
幼児の社会性

6. その他特記事項

第1幼稚園家庭教育学級開設
テーマ

- ・家庭教育で大切なこと
- ・幼児期の心の発達(知的発達段階)
- ・幼児期の健康とからだの発達
(丈夫な子どもを育てること)
- ・発達に影響する教育環境
- ・幼児期のしつけ、習慣づくり
- ・家庭の情操、健康教育
- ・これからの家庭教育

6. 児童数（生徒数）、幼児数

学年	2年保育（年少）	1年保育（年長）	2年保育（年長）	計
学級数	2	5	1	7
男	24	88	20	132
女	17	96	18	131
計	41	184	38	263

7. 教職員

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月	研究教科	その他
1	江角正子	51	園長	昭和40.4.1	経営	管理事務 教務事務 庶務全般
2	樋山欣子	46	主任	昭和42.4.1	健康管理	
3	沖山英代	33	二年年少	昭和41.4.1	音楽リズム	
4	甲野エミ	37	一年年長	昭和40.4.1	自然	
5	上野美津枝	31	〃	昭和43.4.1	絵画製作	
6	坂口嘉津子	30	〃	昭和40.4.1	言語、作会	
7	市川やす子	23	〃	昭和46.9.1	音楽リズム	
8	石川和子	26	〃	昭和40.4.1	言語、図書	
9	平向邦江	28	二年年長	昭和40.4.1	音楽リズム	

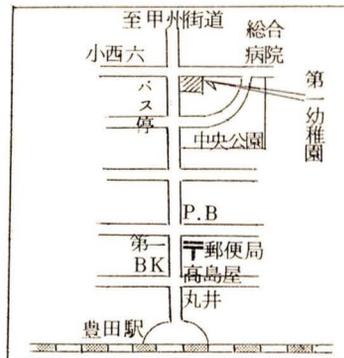
8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	
昭和41年度	図書コーナーの利用(1)
昭和42年度	図書コーナーを利用して(2)
昭和43年度	丈夫なからだ（体力づくり）
昭和44年度	「意欲的によく遊べる子」 (1)ひとりひとりの幼児の理解を中心に (2)指導過程における指導の方法を中心に
昭和45年度	44年度研究「意欲的に遊べる子」について継続研究

9. 幼稚園教育相談

教育相談窓口	樋山欣子
教育相談員	上野美津枝
教育研修員	平向邦江
〃	石川和子
〃	我部奈美

11. 学校に至るまでの地図



10. 保護者の職業一覧

職 職	家庭実数	%
1. 会社員	189	69
2. 公務員	27	10
3. 公社員	7	3
4. 教員	11	4
5. 自営業	17	6
6. その他	23	8



園名 日野市立第二幼稚園
 所在地 東京都日野市平山4丁目8番地の4
 電話 0425-91-4125
 順路 京王線平山城址公園下車徒歩10分

園長氏名 安積利治

主任氏名 田中澄子

1. 沿革の概要

昭和40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として
 平山小学校内に設置
 園児 131名

昭和40. 5.10 開園記念日と定める

昭和40. 5.30 園章制定

昭和41. 2.23 放送施設完成

昭和46. 3.10 日野市研究協力園として研
 究発表を行なう。

2. 歴代園長氏名

氏名 年月～年月

後藤正太 昭40.4～昭42.3

安積利治 〃42.4～

3. 地域の環境

市の南西部にあり、南に多摩丘陵がつら
 なり、自然に恵まれ景観のよい環境である。
 近年は宅地造成、住宅団地造成により住宅
 地と化し、都内に勤務する家庭の子弟が多
 くなっている。

4. 教育目標

- (1) つよいからだで元気なこども
- (2) 明るく仲よく遊べるこども
- (3) ゆたかな心をもつこども

5. 本年度指導の重点

- ・生活指導
 自主性、協調性を養い、正しい社会生活
 のできる基礎を養う。

6. 児童数(生徒数)、幼児数

学年 5才児 4才児

学級数 3

男 58

女 66

計 124

7. 教職員

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月日	研究教科
1	安積利治	53	園長	42.4.1	経営
2	田中澄子	44	主任	43.4.1	経営
3	石川紀子	30	一年年長 ゆり組	40.4.1	自然
4	高橋千鶴子	38	一年年長 ばら組	46.5.1	社会
5	鶴沼万里子	26	二年年少 もも組	40.4.1	言語

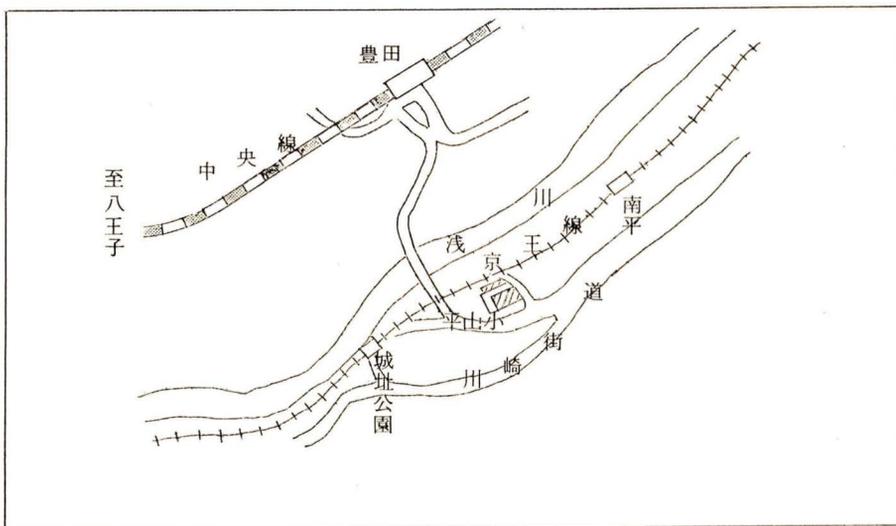
8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	遊びと施設
昭和42年度	子どもの健康状態と体力の向上について
昭和43年度	粘土あそび どろ粘土コーナーの利用
昭和44年度	遊具を使用した幼児の体育指導
昭和45年度	地域環境に即した野外指導の年間計画と実践

9. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	79	64	農 業	2	2
公 務 員	16	12	商 業	6	5
国鉄職員	2	2	そ の 他	15	12
銀 行 員	4	3			

10. 学校に至るまでの地図





園 名 日野市立第三幼稚園

所 在 地 日野市日野 2800

電 話 0425-81-7127

順 路 国電 日野駅下車 徒歩7分
バス 日野市役所前

園長氏名 下 田 忍

主任氏名 鷺 見 照 子

1. 沿革の概要

- 昭和41. 2.28 園舎完成
昭和41. 4. 1 設置認可
昭和41. 4.11 開 園
(4学級、園児数143名)
昭和42. 2. 園舎東側ブロック塀工事
昭和42. 5. 裏門両袖ブロック塀工事完了
昭和42.10. 花壇完成
昭和42.11. コークス小屋完成
昭和42.11. 観察池完成
昭和44. 9. 砂場用足洗(手洗場)場完成

2. 歴代園長

氏 名	年 月	～ 年 月
吉 田 辰 次	41.6	～ 41.5
永 野 林 弘	41.6	～ 42.3
吉 田 辰 次	42.3	～ 44.3
下 田 忍	44.3	～

3. 地域の環境

- ・田畑(果樹園)、丘、林、川など自然環境に恵まれ、公園、神社、広場など、子ども達のあそび場所もじゅうぶんにある。
- ・通園区域が広くバス通園児もある。
- ・小学校が隣接し、消防署、市役所が近くにある。
- ・甲州街道(国道20号線)、高幡街道が近いので交通事情も急激に変化してきている。

4. 教育目標

- (1) よい社会人となるための基礎を育成する。
- ア. じょうぶで明るい子
イ. きまりを守って誰とでも仲よくできる子
- (2) 創造性の芽生えをつちかう。

5. 本年度指導の重点

- (1) 教育課程の編成と改善についての重点
- ア. 豊かな経験をさせて創造力の芽生えをつちかう。
イ. 望ましい生活習慣を身につけさせる。
ウ. 幼小の関連をふまえた具体的指導を実践する。
- (2) 環境構成
- ア. 活動意欲を高めるための環境構成をくふうする。
イ. 遊具の整備と管理の向上につとめる。
- (3) 家庭との連絡
- ア. 父母との連絡を計画的に考える。
イ. 父母との懇談のあり方を検討する。
- (4) その他
- 安全指導を計画的に実施する。

6. 児童数（生徒数）、幼児数

学年	二年保育年少	一年保育	二年保育年長	計
学級数	1	2	1	4
男	17	43	16	76
女	23	40	17	80
計	40	83	33	156

7. 教職員

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月	研究教科	その他
1	下田 忍	49	園長	昭和44.4.1	経営	
2	鷺見 照子	45	主任	昭和41.4.1	社会	
3	大石 時子	25	二年保育年長（5才）	昭和41.4.1	自然	
4	黒田 朝子	25	一年保育（5才）	昭和43.4.10	絵画製作	
5	藤井 和子	26	〃（5才）	昭和44.5.1	健康	
6	石塚 博子	24	二年保育年少（4才）	昭和45.11.1	音楽リズム	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	
昭和41年度	自然の領域における教材の選択
昭和42年度	幼、小の関連について
昭和43年度	幼、小の関連
昭和44年度	幼、小の関連「自然の領域についての実践的研究」
昭和45年度	自然の領域における評価の観点について

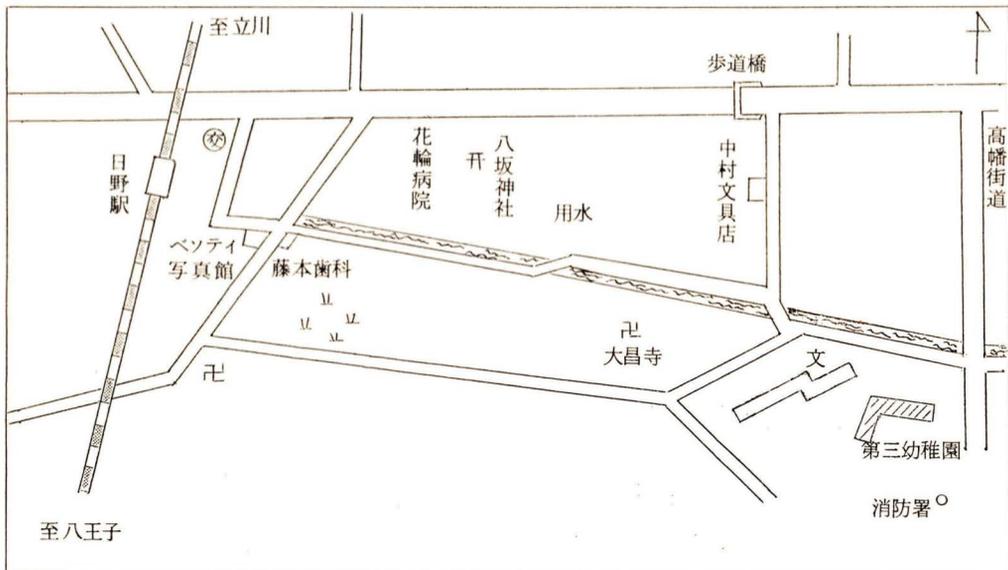
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年度	氏名	教科、領域	研究員、研究生別
昭和43年度	鷺見 照子	社会	研究員

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
1. 会 社 員	120	76	4. 銀 行 員	1	1
2. 公 務 員	8	5	5. そ の 他	9	6
3. 自 営 業	18	12	計	156	

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第一小学校
所在地 日野市日野2800番地
電話 0425-81-0073・0061
順路 中央線日野駅下車 徒歩6分

校長氏名 下田 忍

教頭氏名 小野寺 東雄

1. 沿革の概要

- 明治 6. 5. 5 北原の土淵山普門寺の本堂を
あて開校、第一大学区第八
中学区第五十四番小学日野
学校と称す。(当時神奈川県)
- 明治 45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎改増
築、校地拡張(現中央公民
館の所)。
- 昭和 15 日野 2800 番地(現在地)に
土地 900 余坪 新校舎新築
開始。(戦時中軍徴用)
- 昭和 23. 4. 25 新校舎に移転完了
- 昭和 25. 4. 1 東京都指定実験校となり、
教育課程の研究発足 27 年
3 月 5 日発表。
- 昭和 28. 8. 2 80 周年記念プール竣工。
- 昭和 38. 11 日野市制施行により日野市
立日野第一小学校と校名を
変更。
- 昭和 40. 4. 防音校舎三期をもって完成。
- 昭和 43. 4. 1 日野市研究協力校として
「教育環境の整備」を主題
として研究発足。
- 昭和 43. 8. 1 日野市集会場を屋内運動場
兼講堂として移管
- 昭和 44. 4. 1 東京都学校花壇協力校となる

2. 歴代校長

氏名	年月～年月
1. 日野 義 順	M 6. 5～M 9. 7
2. 国府田 学	M 9. 7～M 11. 3
3. 小川 則 要	M 11. 4～M 15. 3
4. 鈴木 宗 也	M 15. 4～M 16. 8
5. 上野 謙 松	M 16. 9～M 18. 3
6. 二見 友三郎	M 18. 4～M 19. 4
7. 八木岡 寛 制	M 19. 5～M 21. 10
8. 佐野 鶴 松	M 21. 11～T 5. 3
9. 古谷 剛次郎	T 5. 4～T 12. 1
10. 河合 平 作	T 12. 2～T 15. 3
11. 古谷 剛次郎	T 15. 4～S 11. 1
12. 宮川 海 三	S 11. 2～S 18. 3
13. 貫井 半 蔵	S 18. 4～S 23. 8
14. 小池 嘉 一	S 23. 9～S 34. 3
15. 尾崎 半次郎	S 34. 4～S 37. 3
16. 五十嵐 葆 光	S 37. 4～S 38. 3
17. 木村 清	S 38. 4～S 41. 3
18. 吉田 辰 次	S 41. 4～S 44. 3
19. 下田 忍	S 44. 4～

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅より近く交通の便はよいが、甲州、川崎の両街道をかかえ、交通禍の危険をはらんでいる。校区内は区画、地番の整理も十分でなく、近代都市へ

の脱皮の途上にあるようである。しかもしだいに田畑は宅地造成などにより変容しつつあるが、今のところは公害におそわれることもなく、自然の緑の美しい心やすまる環境である。

4. 教育目標

本校の教育は、自主的に人格の完成につとめる児童の育成をめざし、つぎのことがらを中心として展開する。

1. 科学性を身につける子ども
2. 豊かな心情をもつ子ども
3. つよい意志をそだてる子ども
4. じょうぶな体をつくる子ども

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

- ア. 各教科 授業研究を通して深く考えながら学ぶ子どもを育成する。
- イ. 道徳 年間授業計画に基き、指導法の研究を進める。
- ウ. 特別活動 集団活動を通して児童の自主性を高める。

(2) 生活指導の重点

よく考えて行動する子どもの育成につとめる。

6. 児童数(生徒数)、幼児数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級 (訪問学級)	計	
学級数	4	4	4	4	4	4	1	25	
男	84	85	68	72	66	72	3年2 4年1	3	450
女	72	63	69	69	71	66	4年1 5年1	2	412
計	156	148	137	141	137	138		5	862

7. 教職員

番号	氏 名	年齢	担 任	本校就任年月	研究教科	そ の 他
1	下 田 忍	50	校 長	44.4.1	経営、社会	
2	小野寺 東 雄	44	教 頭	46.4.1	経営、理科	
3	末 継 逸 夫	45	1 - 1	44.4.1	体 育	
4	清 雲 よ志子	50	1 - 2	44.4.1	社 会	
5	村 上 澄 江	45	1 - 3	45.4.1	道 徳	
6	辻 田 静 江	41	1 - 4	43.4.1	図 書	

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月	研究教科	その他
7	土田 芳夫	37	2 - 1	40.4.1	視聴覚	
8	山口 和子	44	2 - 2	43.4.1	道徳	
9	畠中 巽	59	2 - 3	37.4.1	国語	
10	吉崎 幸枝	33	2 - 4	39.4.1	国語	
11	青柳 俊夫	45	3 - 1	45.4.1	算数・体育	
12	前川 せつ	43	3 - 2	38.4.1	給食	
13	今野 みち子	47	3 - 3	42.5.16	国語	
14	片野 茂夫	27	3 - 4	46.4.1	理科	
15	酒井 栄一	58	4 - 1	42.4.1	視聴覚・図工	
16	安藤 和枝	35	4 - 2	43.4.1	国語	
17	清水 和恵	23	4 - 3	45.4.1	道徳	
18	斎木 昭朗	37	4 - 4	41.9.16	社会	
19	上山 洋一郎	41	5 - 1	42.4.1	生活指導	
20	三浦 みのり	42	5 - 2	40.4.1	体育	
21	村上 政子	23	5 - 3	46.4.1	理科	
22	村田 麗子	41	5 - 4	40.4.1	国語	
23	関本 宗代	25	6 - 1	43.4.1	図工	
24	越村 清治	26	6 - 2	42.4.1	社会	
25	三村 礼子	36	6 - 3	39.4.1	教育相談	
26	上江洲 信七	47	6 - 4	39.4.1	理科	
27	黒田 弘行	36	理科	38.4.1	理科	
28	高橋 晴彦	38	音楽	39.9.1	音楽	
29	奈良 悦子	39	家庭	41.4.1	家庭	
30	松井 玉江	43	養護	42.4.1	養護	
31	石田 義一	36	事務	38.8.1	事務	
32	石川 聖子	22	事務	46.4.1	事務	
33	高瀬 三郎	55	特殊	46.4.1	特殊教育	
34	守屋 ふみ	48	特殊	46.4.1	特殊教育	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	不詳	昭和44年度	教育環境の整備と活用
昭和41年度	教材の系統制について	昭和45年度	ひとりひとりを生かす生活指導
昭和42年度	学校運営の能率化.	昭和46年度	考える子どもの育成
昭和43年度	学校運営の能率化.教育環境の整備		(教科・道徳・特別活動を通して)

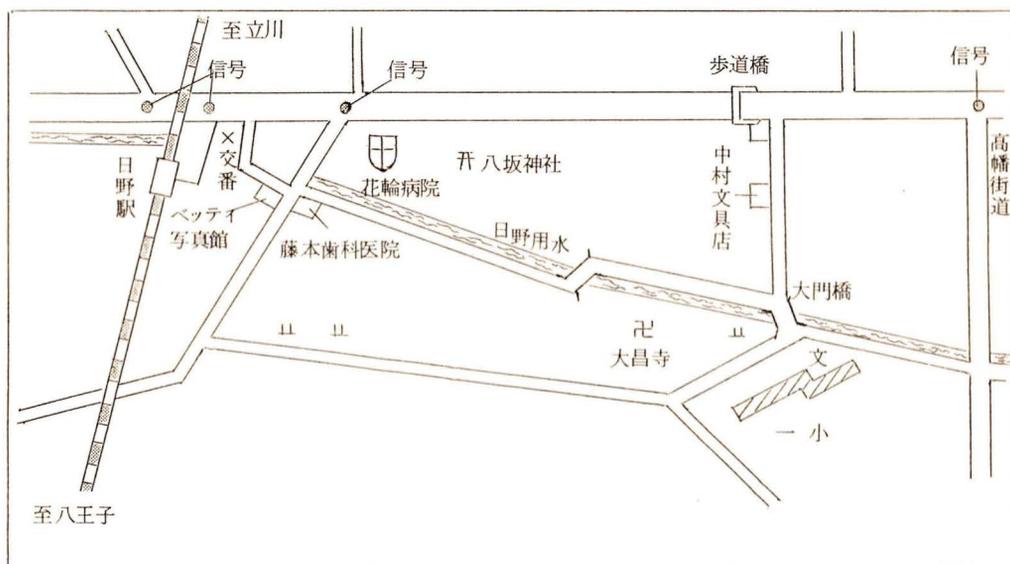
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和44年度	奈良悦子	家庭科	研究員
昭和45年度	松井玉江	養護	研究員
昭和46年度	青柳俊夫	体育	研究員

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	348	53.4	サ ー ビ ス 業	11	1.7
公 務 員	131	20.1	自 由 業	16	2.5
運 輸 通 信	24	3.7	そ の 他	31	4.8
農 業	16	2.5	無 職	1	0.1
自 宅 商	36	5.5			
自 宅 工	37	5.7	計	651	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第二小学校
所在地 日野市豊田218
電話 0425-81-0070・0851
順路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 後藤 正太

教頭氏名 平松 健太郎

1. 沿革の概要

- 明治 7. 3 神奈川県9大区4小区豊田村尋常小学校として創設、戸長山口平太夫氏長屋を仮校舎にする。
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下2等級に分け下等小学校は満6才より9才、上等小学校は満10才より13才までとする。
- 明治 12. 2 豊田 1320 番地善生寺の西隣に新校舎建築。
- 明治 26. 4 東京府に編入される。
- 明治 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。
- 昭和 17 豊田 218 番地に新校舎建築。
- 昭和 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として再び独立。
- 昭和 27. 12 第1次増築 2階建 8教室 276坪 拡張工地 569坪。
- 昭和 30. 4 日野町日野第二小学校と校名変更
- 昭和 31. 4 第2次増築 2階建 6教室 168坪 拡張校地 366坪
- 昭和 38. 11 日野市立日野第二小学校と校名変更。
- 昭和 43. 6 防音校築第1期工事完成。
- 昭和 44. 3 防音改築第2期工事完成
- 昭和 45. 2 日野市指定研究「教材教具の整備と活用」研究発表をおこなう。
- 昭和 46. 2 体育館工事落成

2. 歴代校長

氏名	年月～年月
小山 茂平	昭 21. 6～27. 9
増島 光一	27. 10～34. 3
小池 嘉一	34. 4～38. 3
森久保 惣次	38. 4～42. 3
後藤 正太	42. 4～

3. 地域の環境

- (1) 豊田の里といわれた中央線と浅川に囲まれた静かな農村も、農家が4%と勤労者住宅地帯と豊田駅付近の小商店街とにかわった。
- (2) 学校前の都道をはじめ、学区内の道路はどこも交通事情激化の波におされ、通学路も危険にさらされ、児童の安全な遊び場がなくなってしまった。
- (3) PTAの会員の質も大きく変わり、先生まかせの学校のこどもから、父母参観のあとなど、相当つっこんだ質問もできるようになる。

4. 教育目標

- (1) からだも心も強く明るい子
- (2) みんなと仲よく力をあわせられる子
- (3) よく考え進んで行動する子
- (4) 責任をもって最後までやりぬく子

5. 本年度指導の重点

- (1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点
ア. 各教科
○指導要領に立脚し、本校児童に即した指導内容を精選、重点化し、その

指導の徹底をはかる。

- くふうを重ね、さいごまで問題を追求していく態度を養う。
- 児童ひとりひとりの実態把握の上に立つて常に指導法をくふうする。
- 国語指導の研究を本年度の重点研究としてとりあげていく。

イ. 道徳

- (ア) 教育目標「責任をもってさいごまでやりぬく子」に関連して道徳の全体目標を明確にし、生活指導との関連で道徳性の向上を期する。
- (イ) 1年から6年まで系統的に指導しやすくするよう年間指導計画の内容を改める。

ウ. 特別活動

- (ア) 前年度の重点研究であった学級会指導をひきつづき深めていく。
- (イ) 委員会活動を4、5月集中的に指導し、定着化をはかる。
- (ウ) 4年生の参加のしかたを研究し、その効果的な指導をくふうする。
- (ハ) 児童の手で運営されている児童朝会を側面から指導し、内容を高める。

(2) 生活指導の重点

- ア. 特別活動の学級会指導及び学級指導をとおして自分で計画を立て、最後まで努力する態度を育てる。
 - イ. 交通事情の悪化に伴い、安全指導、交通訓練の重視と父母、学校の協力をより推進する。
 - ウ. ものを大事にすることを、自分のもの、みんなのもの、学校のものへと及ぼし、公共物愛護の精神を養う。
- #### (3) その他の配慮事項
- ア. 教材教具の充実とあいまって、整理整頓と有効適切な活用をくふうする。
 - イ. 落ち着いた学習環境づくりに、校舎校庭の美化整備に努める。

6. 児童数(生徒数)、幼児数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	3	3	3	3	3	19
男	60	58	58	59	42	59	336
女	81	62	42	44	57	54	340
計	141	120	100	103	99	113	676

7. 教職員氏名

番号	氏名	年令	受持学年	本校就任年月	研究教科	その他
1	後藤 正太	59		42. 4. 1		
2	平松 健太郎	46		46. 4. 1		

番号	氏名	年齢	受持学年	本校就任年月	研究教科	その他
3	倉石 桂	60	理科	40.4.1	管理、理科	
4	松井 慶吾	46	3 - 1	46.4.1	教務主任、道徳	
5	高島 和子	43	5 - 3	45.4.1	図書館、国語	
6	赤石 享	46	1 - 2	42.4.1	給食、国語	
7	鈴木 ナヲ	50	6 - 1	43.4.1	保健主事、体育	
8	石岡 信行	45	5 - 2	45.4.1	指導研究、国語	
9	峰岸 サヨ	43	2 - 2	42.4.1	研修、図工	
10	石井 三士	40	4 - 1	43.4.1	教務事務、国語	
11	石郷岡 浩子	37	1 - 4	44.4.1	環境、音楽	
12	合田 嘉定	42	6 - 2	42.4.1	生活指導、社会	
13	河原田 桂子	38	音楽	43.4.1	A V 指導、音楽	
14	田村 利樹	35	2 - 1	44.4.1	生活指導、理科	
15	鶴田 久美子	34	図工	45.4.1	環境、図工	
16	河島 務	35	1 - 1	46.4.1	生活指導、算教	
17	信夫 清彦	26	6 - 3	43.4.1	保健、体育	
18	河野 珠恵	24	3 - 2	44.4.1	給食、社会	
19	武内 和江	24	4 - 2	46.4.1	A V、社会	
20	石川 正子	23	2 - 3	45.4.1	給食、家庭	
21	芳賀 アサ子	22	3 - 3	46.4.1	生活指導、社会	
22	島田 美代子	22	5 - 1	46.4.1	A V、家庭	
23	阿部 えり子	21	4 - 3	45.4.1	図書館、体育	
24	中村 久美恵	20	1 - 3	46.4.1	図書館、国語	
25	大野 馨	37	事務	43.4.1		
26	倉林 紀子	28	養護	46.9.1	保健	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	集団指導の研究
昭和41年度	道徳の指導計画の作製
昭和42年度	道徳の指導計画の作製
昭和43年度	国語科における読解教材の効果的な指導法
昭和44年度	教材教具の効果的な整備と活用
昭和45年度	学級会活動における児童の自主性の育成

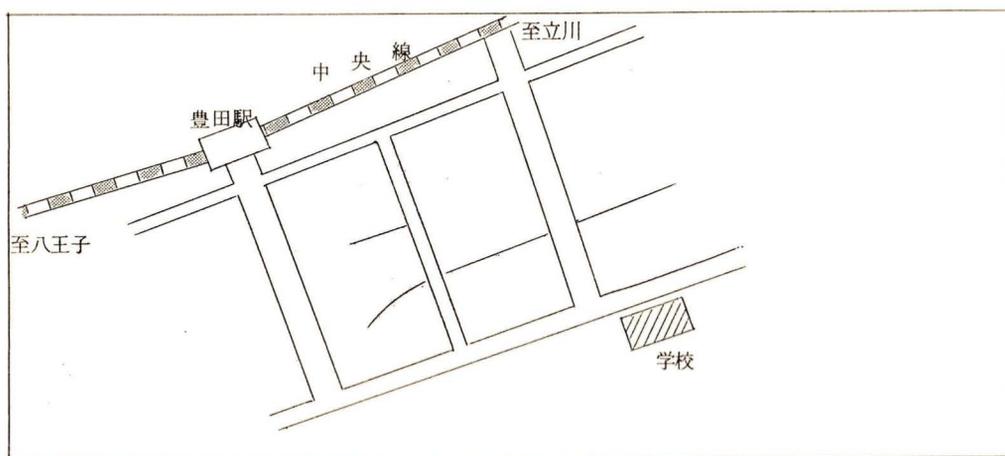
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和43年度	赤 石 享	給 食	研 究 員
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	研 究 員
〃	小 林 繁 人	学級経営	研 究 生

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
企業経営者	14	2	労務的従業者	70	10
専門技術的職業	124	19	サービス従業者	36	5
管理的職業	65	9	農林漁業従事者	32	5
小 企 業 者	70	10	そ の 他	27	4
事務的職業	235	36	計	673	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第三小学校
所在地 日野市日野台2丁目1番地1号
電話 0425-81-0101
順路 中央線 日野-徒歩15分-学校

校長氏名 池田 瑞男

教頭氏名 与世田 兼弘

1. 沿革の概要

- 昭23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年340名、教室4、全学年2部授業。
- 昭25. 6. 10 日野台小学校として独立する。児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
- 昭25. 7. 18 校章制定
- 昭25. 9. 19 4教室増築、教室数13
3年まで2部授業
- 昭27. 4. 15 4教室増築、教室数17
2年まで2部授業
- 昭27. 6. 10 校歌制定
- 昭28. 6. 10 校地850坪拡張、6教室増築、教室数23、2部授業解消される。
- 昭30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築、教室数25、児童数869名
- 昭32. 10. 7 給食調理室完成
- 昭33. 8. 3 大小プール落成
- 昭34. 3 校地1100坪拡張
- 昭34. 5. 11 34年度東京都小学校理科教育研究協力学校に指定される。

- 昭35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される。
- 昭35. 6. 10 開校10周年記念日を迎え記念式、祝賀会を催す。
- 昭37. 4. 5 校門完成
- 昭38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更。
- 昭39. 6. 2 放送室、用務員室完成
- 昭42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭42. 9. 1 3年以上新校舎使用開始、順次に木造旧校舎解体
- 昭43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地1号
- 昭44. 12. 20 学校北側の外柵落成
- 昭45. 6 プレハブ2教室落成
- 昭46. 2. 16 体育館落成式、校章制定
- 昭46. 4. 20 プレハブ2教室落成、祝賀会を催す。

2. 歴代校長

氏名

- 高野 忠正(事務取扱)昭25. 6. 10～26. 3. 12
- 高野 忠正(校長)昭26. 3. 13～27. 9. 30
- 尾崎半次郎 昭27. 10. 1～34. 3. 31
- 五十嵐保光 昭34. 4. 1～37. 3. 31
- 塚本 正 昭37. 4. 1～41. 3. 31
- 池田 瑞男 昭41. 4. 1～現在に至る

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔 800 m の日野台地及び多摩川沿いに平地を含む地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり、台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子が眺望できるとすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

本校の教育は、憲法及び教育基本法の精神に基づいて、民主的な社会人としての人間形成の基礎作りにある。

- よく考えて勉強する子ども
- 責任をはたす子ども
- 健康で明るい子ども

5. 本年度指導の重点

・学習指導

- 個々の児童の思考を高めるよう効率高い授業を展開する。
- 基本的事項の精選と集約。
- 教育機器や資料の整備

生活指導

- 基本的な生活態度の育成をはかり、その習慣化に努める。

6. 児童数（生徒数）、幼児数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特 殊	計
学級数	4	3	4	3	3	3	3	23
男	80	72	80	63	50	61	18	424
女	93	57	76	60	59	43	14	402
計	173	129	156	123	109	104	32	826

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
1	池 田 瑞 男	59		4 1 . 4 . 1	学校経営	
2	与世田 兼 弘	51		4 4 . 4 . 1	学校経営	
3	井 上 保	41	1 - 1	4 4 . 4 . 1	社 会	
4	田 村 和 子	34	1 - 2	4 0 . 4 . 1	理 科	
5	山 内 春 美	44	1 - 3	4 2 . 4 . 1	算 数	

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月	研究教科	その他
6	津金久子	23	1 - 4	45.4.1	算数	
7	安斉満里子	38	2 - 1	41.4.1	社会	
8	吉川都子	27	2 - 2	42.4.16	算数	
9	杉本升彦	43	2 - 3	42.4.1	道徳	
10	森山誠	28	3 - 1	45.9.1	社会	
11	青柳政子	23	3 - 2	46.4.1	算数	
12	落合茂子	43	3 - 3	42.4.1	国語	
13	高野浩	39	3 - 4	42.4.1	国語	
14	橋本美千代	42	4 - 1	42.4.1	算数	
15	大上琢磨	39	4 - 2	40.4.1	体育	
16	本保陽子	41	4 - 3	44.4.1	社会	
17	広瀬邦夫	43	5 - 1	41.4.1	社会	
18	八田博子	23	5 - 2	46.4.1	算数	
19	木内房枝	23	5 - 3	45.4.1	理科	
20	吉野和夫	27	6 - 1	42.4.1	体育	
21	根守優江	28	6 - 2	45.4.1	理科	
22	松日楽敬治	44	6 - 3	45.4.1	理科	
23	戸塚春男	47	図工専	41.4.1	図工	
24	森甫	43	音楽専	43.4.1	音楽	
25	浅田美弥子	35	家庭専	43.4.1	家庭	
26	高橋陸	26	保健	42.4.1	保健	養教
27	田沢豊彦	38	事務	38.9.1	事務	事務主事
28	飯倉千重子	54	特殊	40.4.1	図工	
29	高井くめ子	28	特殊	45.4.1	国語	
30	大久保友詞	24	特殊	45.4.1	図書館	
31	佐藤隆子	24	特殊	46.4.1	家庭	
32	天野正枝	21	家庭専	46.9.1	家庭	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	道徳
昭和41年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を国語科、理科を通して究明し、学力の充実を期す。
昭和42年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を究明し、学力の充実を期す。
昭和43年度	情緒の安定をはかり、基礎的生活態度を育成する。

昭和44年度	情緒の安定をはかり、基本生活態度を育成する。
昭和45年度	情緒の安定をはかり、基本生活態度を育成する。
昭和46年度	情緒の安定をはかり、基本生活態度を育成する。

9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和33年度	松 村 典 孝	国 語	研究員
昭和37年度	溝呂木 桂 次	理 科	〃
昭和38年度	原 田 成 大	特 殊	〃

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
専門的技術的職業	60	9	技能的職業	223	35
管理的職業	53	8	運輸通信的職業	50	8
事務的職業	155	22	保守的職業	16	2
販売的職業	59	9	サービスの職業	7	1
農業・林業などの職業	16	2	無職その他	10	2
漁業	4	2	計	663	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第四小学校
所在地 日野市石田 430 番地
電話 0425-81-0038
順路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩7分
立川駅北口から多摩動物園行バス 四小
前下車 徒歩2分

校長氏名 森 巖

教頭氏名 佐藤 勝次

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 下田学舎
21.11. 下田小学校
41. 3. 日野小学校下田分校場
29. 8.18 校地決定 425914坪
30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開
校記念日とする。
昭 30.12.22 校章制定
30.12.25 第三期校舎竣工
31. 3. 5 校旗完成
32.11.20 学校給食開始
35. 7.20 プール落成式並祝賀会
36. 3.26 第三期校舎落成式
36.11. 1 校歌発表会、以後この日を開
校記念日とする。
39. 6.10 校地拡張及防音校舎に改築が
決定
40. 3.31 防音校舎9教室完成
41. 3.31 防音校舎第2期工事完了
14教室完成
41. 7. 9 防音校舎落成、独立11周年
下田学舎創立9周年記念式
典
43.11.27 統計教育研究指定校として研
究発表会をする。(都、市指
定校)
45. 3.31 体育館落成
防音校舎7教室増築完成

2. 歴代校長

氏名	年月～年月
浦上 増太郎	昭30.3.29～36.3.31
田中 善次	36.4.1～44.3.31
森 巖	44.4.1～

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯、9地区1900戸である。甲州街道から約1km南にへだたった多摩川あたりにくらし、田畑に囲まれ、前面に中央高速道路が走っている。米どころ日野の田園地帯と多摩川梨の産出地域である。万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が急激に進められ田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

地域社会の特性を活かし、児童の実態を把握し、個性と能力に即し、児童の日常生活を基盤として次の事項を目標とする。

- 1.丈夫な身体で 健康安全教育。
- 2.いつも元気に 明朗で活動的な人間の育成。
- 3.何事も自分で考え 真実を求め科学する心の育成。
- 4.仲よく 人間尊重と協力奉仕する民主的社会的な人の育成。

5.学びましょう。 自主的学習態度の養成と基礎学力の充実。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア、学年会を研究的に進め、教師間の共通理解を深めながら指導性を高め目標の達成を図る。

イ、あらゆる生活場面で、教師と児童との心の交流を図りながら児童の学習意欲を高めていく。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア、各教科

自主的学習態度を重視して学力の向上をはかる。

イ、道徳

1. 生命を尊重し健康の増進と安全の保持につとめることができるようにする。
2. よいと思ったことは進んで実行し、強い意志と責任感をもって最後までやり通すようになる。

ウ、特別活動

児童の自発的、自治的な活動を通して健全なる自主性と豊かな社会性を育てる。

(2) 生活指導の重点

集団生活をとおして個々の児童の生活態度の向上を図りながら教育課程が能率的、効果的に実施されるように努める。

〔具体目標〕 学級、学校のきまりをたいせつに考え、行動する子どもを育てる。

- (1) 個々の児童の能力、特性に応じた個別指導に力を入れる。
- (2) 学級、学校集団の質を高めるための集団指導に力を入れる。

6. 児童数(生徒数)、幼児数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	4	3	3	3	3	19
男	59	78	55	48	43	56	335
女	64	61	58	65	55	47	344
計	123	139	113	113	98	103	679

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
1	森 巖	59	校 長	44.4.1	経営	
2	佐藤勝次	64	教 頭	46.4.1	経営、理科	
3	舞田章子	41	1 - 1	41.4.1	体育、給食	

番号	氏名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
4	宮 沢 美 恵 子	25	1 - 2	4 3 . 4 . 1	国 語 語	
5	大 熊 喜 一	42	1 - 3	4 2 . 4 . 1	算 数、生 活	
6	堀 内 弘	26	2 - 1	4 3 . 4 . 1	体 育、視 聴 覚	
7	高 倉 教 行	42	2 - 2	4 5 . 4 . 1	国 語、図 書 館	
8	鈴 木 正 子	25	2 - 3	4 3 . 4 . 1	国 語	
9	田 中 久 子	26	2 - 4	4 2 . 4 . 1	音 楽	
10	板 谷 敏	42	3 - 1	4 6 . 4 . 1	体 育、社 会	
11	川 崎 照 子	42	3 - 2	4 4 . 4 . 1	道 徳、保 健	
12	高 橋 始 始 江	22	3 - 3	4 6 . 4 . 1	音 楽	
13	亀 山 恵 之 助	40	4 - 1	4 2 . 4 . 1	社 会、特 活	
14	日 下 部 芳 子	49	4 - 2	4 3 . 4 . 1	算 数	
15	雨 宮 一 好	26	4 - 3	4 2 . 4 . 1	体 育、身 障	
16	前 田 誠 一 郎	24	5 - 1	4 4 . 4 . 1	理 科	
17	仲 二 見 洋 子	43	5 - 2	4 2 . 4 . 1	特 活、家 庭	
18	上 野 森 良	40	5 - 3	4 3 . 4 . 1	道 徳、教 育 相 談	
19	逸 見 政 一	32	6 - 1	4 1 . 4 . 1	体 育	
20	杉 本 瑛 之	44	6 - 2	4 4 . 4 . 1	理 科	
21	古 谷 二 三 子	43	6 - 3	3 9 . 4 . 1	家 庭	
22	鹿 島 田 恭 江	33	理 科	4 0 . 4 . 1	理 科	
23	村 田 那 智 子	32	音 楽	4 6 . 4 . 1	音 楽	
24	渡 辺 芳 郎	48	図 工	3 9 . 4 . 1	図 工	
25	時 女 久 子	24	養 護	4 2 . 4 . 1	保 健	
26	川 口 真 弓	31	事 務	4 3 . 4 . 1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教育技術の研究（研究授業年8回実施）
昭和41年度	研究授業の励行、指導案作成の研究
昭和42年度	都、市研究協力校 統計教育
昭和43年度	全 上
昭和44年度	国語科を中心とした読解力指導の充実をはかる
昭和45年度	読み、解く力をつけるための基礎的指導をどのように進めたらよいか。

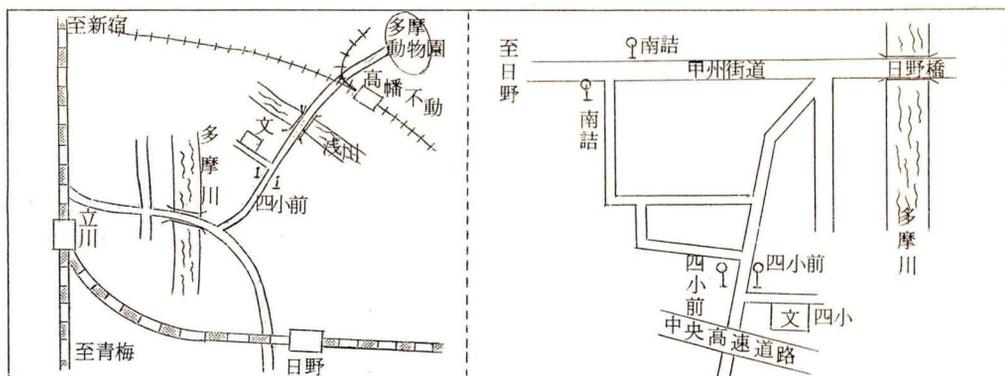
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研 究 員、研 究 生 別
昭和32年度	高 瀬 三 郎	算 数	研 究 員
昭和32年度	新 井 忠 三 郎	音 楽	〃
昭和37年度	井 之 下 茂	体 育	〃
昭和38年度	加 藤 隆 輔	図 工	〃
昭和42年度	渡 辺 芳 郎	図 工	〃

10. 父母の職業（家庭数）（昭和46年度5月調）

	工 員	事 務 員	公 務 員	管 理 職	交 運 通 輸	農 業	自 宅 商	自 宅 工	そ の 他	合 計	共 共 ぎ	留 家 守 庭
1	16	17	7	2	7	1	4	1	4	59	36	11
2	25	19	6	3	5	1	6	5	4	74	29	9
3	14	26	7	2	3	4	3	6	9	74	31	14
4	24	22	8	2	3	6	6	9	6	86	38	24
5	25	9	5	8	12	8	3	20	2	92	26	16
6	25	14	7	9	4	11	6	10	16	102	35	23
計	129	107	40	26	34	31	28	51	41	487	195	97
%	26.5	22.0	8.2	5.3	7.0	6.4	5.7	10.5	8.4	100	(40.0)	(19.9)

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第五小学校

所在地 日野市多摩平6-21-1

電話 0425-81-0445・0407

順路 豊田駅北口より京王バス立川、日野駅行き
五小前にて下車

校長氏名 星野正男

教頭氏名 深沢真人

1. 沿革の概要

昭和34年4月1日8学級269名の児童職員11名で開校、昭和43年7月16日の新・新校舎落成まで第8期の工事を経て学級数37、職員46、市職14名、児童数1,453名の現在に至る。

児童数の急増により昭和39年4月に芝山分校創立創立、翌年日野第六小学校として独立。過密にあえぐ本校の歴史はそのまま第8期までの増改築の歴史でもあった。4人の歴代校長のべ120人の職員、1,862名の卒業生などこの12年間の膨張の一断面である。こうした環境の中にあっても着実な教育活動は続けられ、昭和39年都学校花の協力校として昭和40年までの2年間、環境美化と情操教育にその実績をあげ、昭和41年学校と家庭の教育上の協力というテーマのもとに都の研究協力校として研究、実践を深め、発表など地域学校ぐるみの教育が今も着実に進められている。

2. 歴代校長

氏名

増島光一 昭34.4.1~昭36.3.31
浦上増太郎 昭36.4.1~昭39.3.31
福寿文雄 昭39.4.1~昭42.3.31
星野正男 昭42.4.1~現在まで

3. 地域の環境

昭和33年日本住宅公団により日野台地

が切り開かれ、多摩平団地誕生。この中に第五小学校がある。南は中央線、北は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス網の発達に伴い交通は便利である。

団地の住宅以外に分譲住宅、都営住宅などをかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場など整備され、立木、芝生にかこまれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。父母群も会社員、公務員などが約80%、その学歴も大学卒が約60%と家庭環境にもめぐまれているといえる。

4. 教育目標

心身ともに強健で	心とからだをきたえます
自主性と創造性に富み	
勤労と責任を重んじ	
規律正しく協力して	よく考えて学びます
社会生活に貢献する	
児童の育成を期する	なかよく力を合わせます

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点
ア、各教科
学習指導要領に基づきその精神を生かし、各教科の学習における児童の思考力の伸長を期する。

イ、道徳

改訂された道徳の年間指導計画に基づき、特に不屈の精神ならびに勤労愛好の精神を養うとともに創意くふうの態度をもつようにさせる。

ウ、特別活動

特別活動の改訂の趣旨を十分に生かし、昭和45年度に作成した指導計画を活用して児童の実践的態度を育てる。

(2) 生活指導の重点

年間指導計画の改善をはかり、児童と教師、児童相互の人間関係の深まりをねらうとともに、個々の児童に基本的行動様式を身につけさせる。

6. 児童数(生徒数)

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	6	6	7	6	6	6	37
男	137	113	143	98	114	130	732
女	125	116	128	133	117	102	721
計	262	229	271	231	231	232	1,453

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
1	星野正男	55	校長	42.4.1	国 語	
2	深沢真人	46	教 頭	46.4.1	国 語	
3	堀 フ サ	55	1 - 1	36.4.1	給 食	
4	水上由美子	24	1 - 2	44.4.1	教育相談	
5	松村タケ子	44	1 - 3	46.4.1	道 徳	
6	柴田静枝	29	1 - 4	44.4.1	国 語	
7	小坂橋五佐男	42	1 - 5	40.4.1	算 教	
8	栄 久子	23	1 - 6	46.4.1	家 庭	
9	近藤仁子	34	2 - 1	44.4.1	特 活	
10	河津正幸	22	2 - 2	46.4.1	社 会	
11	前田芳江	24	2 - 3	46.4.1	算 教	
12	吉村シメ	25	2 - 4	45.4.1	図 工	
13	井尻武子	41	2 - 5	41.4.1	教育相談	
14	小林和子	27	2 - 6	44.4.1	国 語	
15	小俣政治	56	3 - 1	42.4.1	算 教	
16	中川金作	45	3 - 2	44.4.1	道 徳	
17	海野とし子	22	3 - 3	46.4.1	社 会	
18	額 美都子	25	3 - 4	43.4.1	理 科	

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月	研究教科	その他
19	三浦勝也	41	3 - 5	38.4.1	特活	
20	和田典子	29	3 - 6	45.4.1	図工	
21	中島祐子	35	3 - 7	42.4.1	図書館	
22	西川朝子	24	4 - 1	46.4.1	社会	
23	佐々木守夫	40	4 - 2	46.4.1	体育	
24	大竹三郎	44	4 - 3	45.4.1	生活指導	
25	松田貴美子	22	4 - 4	46.4.1	体育	
26	前川花子	43	4 - 5	39.4.1	国語	
27	岡田充生	25	4 - 6	43.4.1	理科	
28	赤池正人	34	5 - 1	43.4.1	特活	
29	藤森三治	29	5 - 2	46.4.1	国語	
30	中村志美	23	5 - 3	46.4.1	算数	
31	福地保	41	5 - 4	41.4.1	理科	
32	安井悦子	23	5 - 5	45.4.1	社会	
33	内藤まつ代	42	6 - 1	45.4.1	道徳	
34	藤崎健児	42	6 - 2	45.4.1	算数	
35	小宮智恵子	45	6 - 3	44.4.1	国語	
36	関根敦子	38	6 - 4	43.4.1	国語	
37	中村大	39	6 - 5	45.4.1	社会	
38	渡辺孝雄	35	6 - 6	43.4.1	体育	
39	小林貴美子	25	音楽	43.4.1	音楽	
40	浜野優子	26	音楽	46.4.1	音楽	
41	本荘正雄	57	図工	41.4.1	図工	
42	林茂子	25	家庭	43.4.1	家庭	
43	岡部秀夫	34	理科	41.4.1	理科	
44	富樫容子	21	養護	46.4.1	養護	
45	川崎浩	25	事務	46.4.1	事務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	自主的生活態度の完成と実践化(市) 教材教具資料の収集と活用、基礎学力の充実
昭和41年度	学校と家庭の教育上の協力(都)(市) 花の整備(都)

昭和42年度	道徳の指導計画の作成、指導内容の精選
昭和43年度	道徳の指導法のくふうと資料整備、基本的行動様式の実践、体力増強のための計画と実践
昭和44年度	生活指導における基本的行動様式の実践指導 特に特別教育活動との関連で計画の再検討と特活の年間計画の作成
昭和45年度	学力の定着をめざした指導法のくふうと指導の実践
昭和46年度	各教科の学習における児童の思考力の伸長をはかるくふうと指導の実践

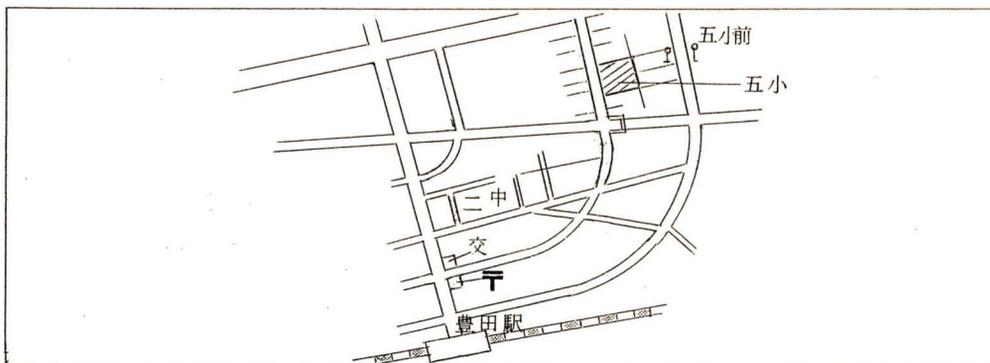
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和36年度	石川 実	国 語	研 究 員
昭和39年度	黒 沢 保 雄	社 会	〃
昭和39年度	堀 フサ子	給 食	〃
昭和40年度	関 口 忠 子	家 庭	〃
昭和41年度	渋谷 義 一	理 科	〃
昭和43.44年度	はなし		
昭和45年度	小坂橋 五佐男	算 数	〃
昭和45年度	三 浦 勝 也	特 活	〃
昭和39年度	大 熊 喜 一	算 数	研 究 生
昭和42年度	渋谷 義 一	理 科	〃

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	678	60	自 宅 商	36	3
公 務 員	158	14	自 宅 工	9	1
教 職 員	101	9	無 職	4	0
工 員	45	4	そ の 他	65	6
運 輸	34	3	計	1,130	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第六小学校
所在地 日野市多摩平 3 丁目 2 1 番地
電話 0425-81-4686・0366
順路 中央線豊田駅北口下車徒歩 1 2 分

校長氏名 新海 圭 三

教頭氏名 黒 沢 保 雄

1. 沿革の概要

- 昭 39. 4. 1 日野第五小学校芝山分校として設置 児童 1 年～3 年 7 学級 263 名
- 昭 40. 4. 1 日野第六小学校として開校 初代校長として平山小学校長 加々美良英就任
1 4 学級 児童数 515 名 教職員 2 1 名
- 昭 40. 9. 6 プール完成 (6 コース 25 m)
- 昭 42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭 43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会
- 昭 43. 3. 31 校長加々美良英退職
- 昭 43. 4. 1 国立市国立第一小学校長峰岸 敬次郎 2 代校長として就任
- 昭 43. 6. 19 南校舎 (普通教室 1 1. 職員室、校長室) 完成
- 昭 43. 11. 6 第 1 3 回学研教育賞を受ける。
- 昭 44. 3. 校地の土どめ工事完成
- 昭 45. 2. 28 屋内体育館完成
- 昭 45. 3. 16 落成式挙行 (学校、PTA 共催)
- 昭 46. 3. 31 校長峰岸敬次郎滝合小学校長として転出
- 昭 46. 4. 1 中野区上高田小学校新海圭三 第三代校長として就任

2. 歴代校長氏名

- 加々美 良 英 昭 40. 4. 1 ～昭 43. 3. 31
峰 岸 敬次郎 昭 43. 4. 1 ～昭 46. 3. 31
新 海 圭 三 昭 46. 4. 1 ～

3. 地域の環境

多摩平の台地に位置し、公団住宅と分譲住宅よりなり、近くに小西六、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが交通事情等は他の日野の学校と比べてよい方である。

4. 教育の目標

本校の教育は法規にもとづき地域社会の特性をふまえ、児童の個性と能力に応じてつぎのことがらをめざして行なわれる。

- (1) たくましい身体と心をきたえる。
- (2) がんばりぬく心を養う。
- (3) 考えながら学ぶ。
- (4) しつかり働く。
- (5) みんなと仲よく。
- (6) 生き物を育てる。

5. 本年度指導の重点

- (1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点
ア、各教科

新学習指導要領の目標、内容を研究し、児童に具体的に各教科の知識、技能、能力を習得させ、他領域と関連させて調和と統一のとれた教育課程の完全実施をめざし、児童ひとりひとりの能力開発を考え指導していく。

イ、道徳

児童ひとりひとりの道徳性を高めるため、道徳時間の指導法の充実と他領域、主として特別活動との関連を具体的な場でどうつなげていくか研究し指

導していく。

ウ、特別活動

特別活動における児童活動、クラブ活動、学級指導の各分野の調和をもたせた指導を充実する。

- 学校行事を精選し、自主的意欲的に参加させる。
- 児童活動、学級指導の意義を正しく理解させ、児童によりよい社会性を身につけさせるよう企画運営していく。

(2) 生活指導の重点

学校集団や個々の児童の生活態度の育成と向上をはかるためにつぎの二点に重点をおく。

- ① 学校集団の生活態度をたかめるために学級、学年経営に創意をこらす。
- ② 個人の能力や特性を生かすために教師と児童の心の結びつきをたいせつにし、家庭との連絡をふかめ指導していく。

(3) その他の配慮事項

- 学校経営の近代化をめざし、学年経営を充実する。
- 新学習指導要領の実施にあたり「指導の手引」を中心に教科部会を定例化し、各教科の目標内容を研究し、日々の授業に生かすよう配慮する。
- 学校教育環境の充実とその適性な利用により教育効果の万全を期する。

6. 児童数(生徒数)、幼児数 (46.5.1)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	5	5	5	5	4	4	28
男	85	117	94	104	70	71	541
女	120	93	98	87	76	70	544
計	205	210	192	191	146	141	1,085

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月	研 究 教 科	そ の 他
1	新 海 圭 三	51	校 長	46.4.1	経 営	
2	黒 沢 保 雄	45	教 頭	46.4.1	経 営	
3	高 橋 寿美子	43	1 - 1	40.4.1	社会・図工	
4	上 条 浩 子	25	1 - 2	44.4.1	算数・図工	
5	草 刈 喜 一	36	1 - 3	46.4.1	国語・体育	
6	中 村 俊 子	42	1 - 4	40.4.1	国語・音楽	
7	谷 口 いづみ	24	1 - 5	45.4.1	理科・音楽	
8	阪 本 緑	31	2 - 1	45.4.1	国語・音楽	
9	斉 藤 八重子	40	2 - 2	43.4.1	理科・体育	
10	塚 本 喜美子	29	2 - 3	45.4.1	国語・体育	

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月	研究教科	その他
11	来間 志信	29	2 - 4	43. 4. 1	国語・体育	
12	梅田 茂	44	2 - 5	40. 4. 1	国語・道徳	
13	佐藤 征男	26	3 - 1	44. 4. 1	社会・体育	
14	塩浦 玲子	24	3 - 2	44. 4. 1	社会・体育	
15	岩尾 照夫	42	3 - 3	40. 4. 1	算数・道徳	
16	西条 淑子	50	3 - 4	42. 4. 1	算数・図工	
17	山下 美美子	25	3 - 5	45. 4. 1	算数・図工	
18	日高 秀則	40	4 - 1	41. 4. 1	算数・図工	
19	藤本 憲康	41	4 - 2	40. 4. 1	算数・図工	
20	高田 敏	46	4 - 3	40. 4. 1	社会・家庭	
21	小野 博子	43	4 - 4	44. 4. 1	理科・音楽	
22	原 祐房	25	4 - 5	45. 4. 1	算数・図工	
23	和田 国平	43	5 - 1	41. 4. 1	社会・道徳	
24	当間 糸子	40	5 - 2	40. 4. 1	国語・道徳	
25	乗越 邦夫	23	5 - 3	46. 4. 1	理科・体育	
26	安藤 愛子	23	5 - 4	45. 4. 1	算数・家庭	
27	清水 しずか	39	6 - 1	40. 4. 1	国語・家庭	
28	広沢 フサ子	32	6 - 2	43. 4. 1	国語・家庭	
29	長田 正夫	30	6 - 3	45. 4. 1	理科・体育	
30	江口 耕一	38	6 - 4	40. 4. 1	国語・体育	
31	永井 一郎	34	理科	44. 4. 1	理科・道徳	
32	曾我 哲夫	39	音楽	43. 4. 1	算数・音楽	
33	藤野 祥子	24	音楽	44. 4. 1	国語・音楽	
34	長沢 和子	47	図工	46. 4. 1	社会・図工	
35	上山 美智子	34	養護	40. 4. 1	保健	
36	広池 誠	28	事務	41. 12. 1	学校事務	

8. 本校における研究主題の推移

昭和40年度	児童と父母を対象とした実態調査
昭和41年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための実践について
昭和42年度	児童のたくましい身体をきたえるための指導の具体化と実践について 市指定
昭和43年度	各教科道徳の教材配列及び教科内容の充実

昭和44年度	自ら考える意欲を高め思考力を伸す学習指導について
昭和45年度	児童の社会性育成の実践指導 学級指導と関連して
昭和46年度	児童の社会性の育成 学校教育目標の達成をめざして

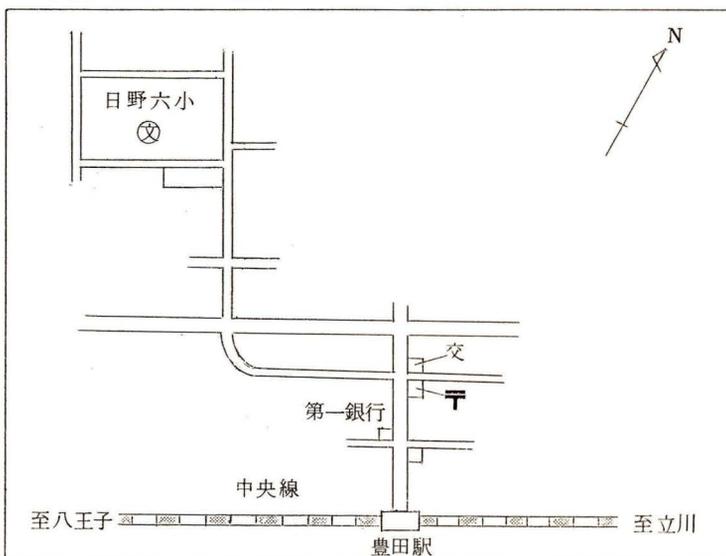
9. 都教育研究員、研究性の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和43年度	岩 尾 照 夫	算 数	研 究 生(学大)
昭和43年度	上 山 美智子	養 護	教育研究員
昭和45年度	高 田 敏	給 食	〃

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
農 業	0	0	団 体 職 員	43	5.2
工 業	31	3.8	会 社 員	515	62.5
商 業	52	6.3	医 師	5	0.7
運 輸 交 通 業	20	2.4	そ の 他	40	4.9
国 家 公 務 員	34	4.1	無 職	5	0.7
地 方 公 務 員	78	9.4	計	823	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立潤徳小学校
所在地 日野市高幡402番地
電話 0425-91-0409・0410
順路 京王線高幡不動駅下車 北へ徒歩4分

校長氏名 溝呂木 桂 次

教頭氏名 工 藤 良 三

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。
明 11.11 三沢701番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築す。
明 20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
明 26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更
明 34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
明 42. 5 昭栄尋常小学校を廃止し、落川分校とする。
昭 16. 4 校名を潤徳国民学校と変更。
昭 22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更
昭 27. 5 創立80周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成す。
昭 30.10 学校保健委員会が都教委及び都学校保健会より表彰さる。
昭 33. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更
昭 38.11 校名を日野市立潤徳小学校と変更(90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川照型完成)
昭 40.12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰さる。
昭 41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建、防音校舎完成、落川分校廃止
昭 44. 2 屋内体育館落成
昭 44. 9 日野市立第八小学校分離

- 昭 44.10 百草台分校併設
昭 45. 4 百草台分校独立日野市立百草台小学校となる。

2. 歴代校長

氏名	年月	年月
初代 大塚四郎右衛門	創	立
2代 覚井 諦 暁	明 19.12	明 11.11
3代 和田 作太郎	明 11.11	明 15.11
4代 土方 喜久太郎	明 15.11	明 17. 2
5代 宮 倉 保五郎	明 17. 2	明 19.10
6代 小 宮 太之助	明 19.10	明 20.10
7代 須 崎 和 蔵	明 20.10	明 31. 2
8代 小 宮 彌一郎	明 31. 2	明 34. 4
9代 加 藤 菊次郎	明 34. 4	明 36. 1
10代 佐 藤 良 輔	明 36. 1	明 42. 4
11代 沖 倉 与 一	明 42. 4	明 43. 4
12代 荒 木 田大夫	明 43. 5	明 45. 3
13代 小 宮 彌一郎	明 45. 4	大 12. 3
14代 平 杉 蔵	大 12. 4	大 13. 3
15代 矢 沢 久 司	大 13. 3	大 14. 9
16代 小 泉 栄 一	大 14.10	昭 3. 3
17代 広 井 博	昭 3. 4	昭 7. 9
18代 重 松 正 顕	昭 7. 9	昭 14. 7
19代 鈴 木 慶 蔵	昭 14. 7	昭 22. 2
20代 赤 坂 元 春	昭 22. 2	昭 27. 9
21代 塚 本 正	昭 27.10	昭 37. 3
22代 尾 崎 半次郎	昭 37. 4	昭 41. 3
23代 塚 本 正	昭 41. 4	昭 43. 3
24代 溝呂木 桂 次	昭 43. 4	現在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北には浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれているが、最近急激に丘陵地帯には公団住宅や分譲住宅の造成が盛んに行なわれ、田園にも都営団地や住宅が増え、過密化の傾向にあり、農業に従事する保護者の割合は約3%である。東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故も増えている。休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等に行楽客も多い。

4. 教育目標

- 敬 愛 健 康 — 心も体もつよい子
- 自 主 — 何でも自分から進んで行なう子
- 自 由 責 任 — 自分のつとめをはたす子
- 規 律 — きまりを正しくする子
- 勤 労 礼 儀 — あいさつとことばづかいに気をつける子

5. 本年度指導の重点

- ・学習指導
 - ㊦ 指導内容の精選と指導方法の改善をはかり指導の効率を高める。
 - (イ) 教材、教具の活用をはかり、学習の効果を高める。
 - (ウ) 児童の道徳性をは握し、指導の効果を高める。
- ・生活指導
 - ㊦ 規律を守る習慣をつける。
 - (イ) 安全教育の徹底をはかる。
- ・進路指導
 - 家庭との連絡を密にし、児童の能力、適性に応じた指導をする。
- ・その他
 - 環境を整備し、校舎内外の美化につとめる。

6. 児童数(生徒数)、幼児数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	7	5	5	5	4	4	30
男	130	95	113	115	89	85	627
女	141	120	99	85	70	68	583
計	271	215	212	200	159	153	1,210

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研 究 教 科	そ の 他
1	溝呂木 桂 次	51	校 長	43.4.1	経 営	
2	工 藤 良 三	59	教 頭	44.4.1	図画・工作	

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
3	天野七郎	46	1-1	45.4.1	算数	
4	坂井和子	46	1-2	40.4.1	学校図書館	
5	後藤楚子	33	1-3	45.4.1	算数	
6	茅野とめ子	25	1-4	46.4.1	算数	
7	大浦真知子	24	1-5	44.9.1	国語	
8	小林淳子	24	1-6	45.4.1	理科	
9	河村令子	22	1-7	46.4.1	理科	
10	斉藤イク	61	2-1	37.4.1	学校給食	
11	佐藤ユウ	36	2-2	42.4.1	算数	
12	石川成子	31	2-3	45.9.16	家庭	
13	土方邦男	25	2-4	44.4.1	音楽	
14	田森締詮	42	2-5	45.5.16	国語	
15	石井和子	43	3-1	44.4.1	道徳	
16	小笠原康夫	24	3-2	44.9.1	体育	
17	田畔基成	26	3-3	44.4.1	体育	
18	吉野美和子	26	3-4	43.4.1	社会	
19	樫八重ますみ	22	3-5	46.4.1	国語	
20	進真郎	43	4-1	41.4.1	体育	
21	小山田穰	23	4-2	45.9.1	体育	
22	川上卓一	23	4-3	45.4.1	理科	
23	小山節子	27	4-4	46.4.1	体育	
24	市川恭子	41	4-5	44.4.1	図画工作	
25	須藤貞雄	45	5-1	44.4.1	体育	
26	川原田和子	26	5-2	46.4.1	体育	
27	香川善平	27	5-3	42.4.1	社会	
28	和田いさを	28	5-4	40.4.1	視聴覚	
29	清水七郎	39	6-1	40.4.1	道徳	
30	伊藤清子	41	6-2	45.4.1	家庭	
31	松島亮子	27	6-3	44.4.1	国語	
32	武内忠雄	24	6-4	44.4.1	国語	
33	辻田六郎	56	図工	38.4.1	図画・工作	
34	村上悦子	34	音楽	41.4.1	音楽	
35	新沼英樹	38	理科	45.4.1	理科	
36	大塚清子	27	家庭	44.4.1	家庭	
37	細井聖子	45	養護	36.4.1	学校保健	
38	橘田晟	34	事務	46.4.1	学校事務	
39	田島英美子	24	3-3	46.9.1	算数	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校における望ましい習慣形成のあり方
昭和41年度	基礎学力の充実 授業研究をとおしての教材研究
昭和42年度	徒手体操の系統的指導法の研究
昭和43年度	体育の効果的な指導法 器械運動について
昭和44年度	系統制を重視したボール運動 社会的態度の育成をめざした集団行動
昭和45年度	学校生活における基本的行動様式の実践 学級指導を通して

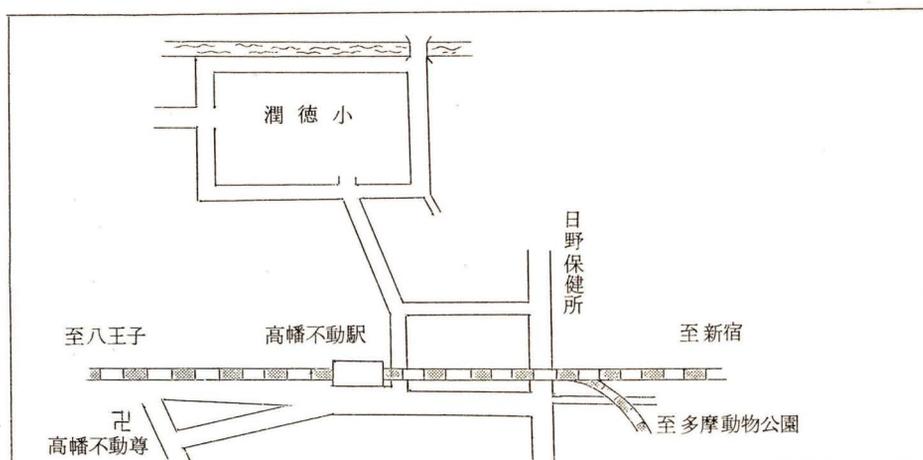
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和35年度	斉 藤 宏	社 会	研 究 員
昭和38年度	斉 藤 イ ク	学校給食	〃
昭和38年度	天 野 七 郎	〃	〃
昭和42年度	天 野 七 郎	算 数	〃
昭和43年度	坂 井 和 子	教育方法	〃
昭和45年度	村 上 悦 子	音 楽	〃

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	212	23.1	サービス従事者	35	3.8
管理的職業	89	9.8	農林、漁業従事者	21	2.3
事務的職業	226	24.6	そ の 他	39	4.2
自 営 業	69	7.5			
労 務 従 事 者	227	24.7	計	918	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立平山小学校
所在地 日野市平山 135 番地
電話 0425-91-4123・0512
順路 京王線 平山城址公園下車 徒歩 8 分

校長氏名 安積利治

教頭氏名 石井富蔵

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗即寺を仮校舎として開校
(真心学舎といい修業年限は 8
ケ年)
- 明 17. 平山 598 番地に新築移転
- 明 20 校名を平山尋常小学校と改める
- 明 35 校名を平山尋常高等小学校と改
める。
- 明 41 尋常科を 6 ケ年、高等科を 2 ケ
年とする。
- 昭 16. 4 国民学校令の施行により七生村
立平山国民学校と改める。
- 昭 22. 4 新学校教育制度の実施により七
生村立平山小学校と改める。
- 昭 32. 2 日野町、七生村合併により日野
町立平山小学校と改める。
- 昭 37. 2 東京都給食研究協力校として研
究発表
- 昭 38. 11 市制施行により日野市立平山小
学校と改める。
- 昭 42. 5 鉄筋防音校舎および屋内体育館
の落成により、平山 135 番地に
移転する。
- 昭 44 日野市研究協力校として「児童
の体力の向上」について研究発
表。
- 昭 45. 3 防音鉄筋校舎 9 教室および機械
室工事完成。
- 昭 46. 3 滝合小の新設に伴う学区変更、
平山小学区は浅川の南側の地区
となる。

2. 歴代校長

氏名	年月	年月
梁 義 伯	明 6. 5	明 12. 1
大 沢 教之助	明 12. 1	明 20. 3
石 井 芳 丸	明 20. 4	明 30. 5
吉 永 信 丸	明 30. 6	明 35. 5
小 宮 彌一郎	明 35. 6	明 45. 3
古 谷 障 司	明 45. 4	大 2. 5
勝 又 房太郎	大 2. 5	大 4. 5
平 杉 蔵	大 4. 6	大 9. 3
上 田 富 彌	大 9. 4	大 15. 3
杉山 喜知太郎	大 15. 4	昭 6. 3
石 川 雄 丸	昭 6. 4	昭 11. 2
鳥 羽 照 司	昭 11. 2	昭 13. 3
石 谷 倉太郎	昭 13. 4	昭 21. 3
飯 塚 節 三	昭 21. 3	昭 22. 3
田宮五郎右衛門	昭 22. 4	昭 28. 3
森久保 惣 次	昭 28. 4	昭 34. 3
高 橋 本 義	昭 34. 4	昭 37. 3
加々美 良 英	昭 37. 4	昭 40. 3
後 藤 正 太	昭 40. 4	昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4	現在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれた西は八王子
市に接する平地、田んぼ、畑等の農地も
残っており、自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年、鉄道官舎、団地、都営住宅、造
成地住宅等市街化されつつあり、他地域
からの転入者が多く、児童数も急激に増
加しつつある。

4. 教育目標

- (1) 健康で 明るい子ども
- (2) よく考えて さいごまでやりぬく子ども
- (3) 進んでよいことをする子ども
- (4) 力を合わせて働く子ども

5. 本年度指導の重点

・学習指導

- (1) たしかな学習、ゆたかな学習、考える学習を進め、基礎学力の向上をはかる。
- (2) 指導内容を明確にし、量的、質的な精選をはかり創造力を伸ばす。
- (3) 教材教具の充実と活用につとめ、学力の定着をはかる。

・生活指導

- (1) 学級会の指導を基盤として生活への意識化と教師のはたらきかけをくふうする。
- (2) 進んでよいことをし、働くことを喜ぶ態度を養う。
- (3) 集団行動のきまりを理解し、進んで守るようにする。
- (4) 安全教育を徹底し、健康な生活を営むようにする。

・その他

- (1) 教師の特性を生かし、協力的な指導により効果をあげることを期する。
- (2) 家庭との連けいを密にして、能力・適性に応じた指導を心がける。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	2	2	3	2	2	14
男	65	44	42	38	37	39	265
女	53	33	40	55	24	40	245
計	118	77	82	93	61	79	510

7. 教職員

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	安 積 利 治	53	校 長	42.4.1	経 営	
2	石 井 富 蔵	54	教 頭	46.4.1	〃	
3	村 松 万佐子	23	1 - 1	45.4.1	算 数	
4	赤 松 紀 子	29	1 - 2	44.4.1	音 楽	
5	関 恒 夫	42	1 - 3	45.4.1	体 育	
6	溝 江 恵美子	29	2 - 1	39.4.1	算 数	
7	雨 宮 政 子	23	2 - 2	45.9.1	国 語	

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
8	和田文雄	37	3 - 1	43.4.1	体育	
9	会田尚子	34	3 - 2	44.4.1	算数	
10	安達美武	25	4 - 1	44.4.1	社会	
11	吉川郁子	36	4 - 2	44.4.1	理科	
12	中村由久枝	24	4 - 3	44.4.1	図工	
13	白川茂一	35	5 - 1	44.4.1	社会	
14	長尾節子	51	5 - 2	45.4.1	家庭	
15	川上昇一	26	6 - 1	45.4.1	道徳	
16	岩井豊子	50	6 - 2	41.4.1	家庭	
17	堀越邦昌	43	理科	44.4.1	理科	
18	内山美知子	39	音楽	39.4.1	音楽	
19	徳永照子	43	図工	39.4.1	図工	
20	鈴木とよ子	26	養護	42.4.1	養護	
21	小島義之	24	事務主事	44.4.1	事務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	理科（すじ道をたてて考える学習）
昭和41年度	全 上
昭和42年度	道徳（道徳指導計画の改訂）
昭和43年度	道徳、体育（道徳、体育を中心に資料の充実と視聴覚教材の活用）
昭和44年度	体育（体育活動を中心に体力の向上をはかる） 市研究協力校
昭和45年度	体育（体力の向上をはかる体育学習）
昭和46年度	生活指導（自主性を育てる）

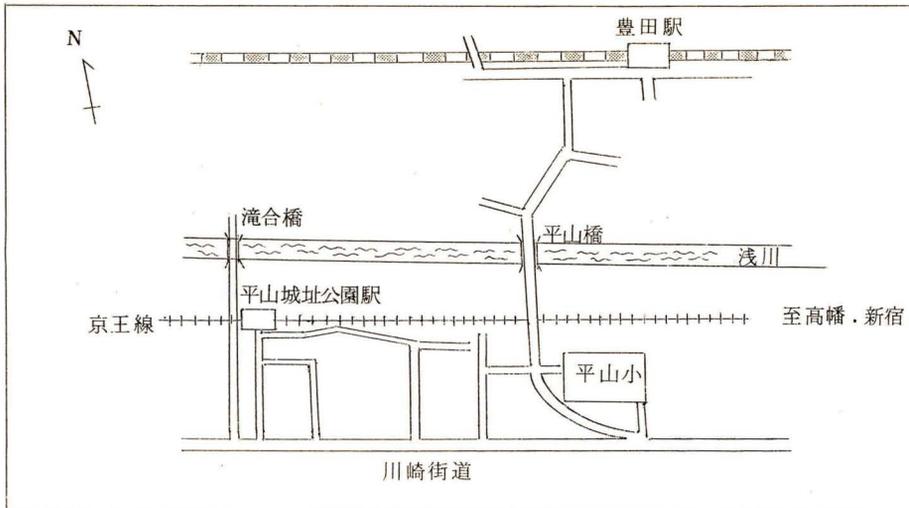
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和40年度	堀越邦昌	学校給食	都研究員

10. 保護者の職業一覧

職業	家庭実数	%	職業	家庭実数	%
企業経営者	18	5	労務従事者	61	16
専門・技術的職業	42	11	サービス従事者	50	13
管理的職業	16	4	農林漁業	26	7
小企業者	17	4	その他	16	5
事務的職業	126	34	無職	2	0.6

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第八小学校
所在地 日野市三沢200
電話 0425-91-2411・2412
順路 京王線高幡不動駅より東へ15分

校長氏名 金子 武夫

教頭氏名 長井 新次郎

1. 沿革の概要

昭和44年度

44. 1. 2 潤徳小学校の児童激増に伴い第八小学校開設が決定し、工事に着手した。
44. 4. 1 第八小学校の開設を9月1日と予定し、潤徳小学校において八小関係の教員並に児童を分離して編成し授業を開始した。
44. 8. 1 日野第八小学校が開設され金子武夫初代校長と長井新次郎教頭の二名が着任した。
44. 8. 16 教員16名と事務職員1名が八小教諭ならびに事務主事に補せられた。
44. 9. 1 日野第八小学校が開校となり、八小関係児童に入学通知が出され、415名の児童が潤徳小より転入した。しかし校舎未完成のため移転できず、そのまま潤徳小で授業を行なう。
44. 11. 1 開校式挙行 11月1日開校記念日と決定。
44. 11. 25 第八小学校落成式祝賀式挙行。
45. 1. 15 公募により八小の校章決定
45. 3. 25 第一回卒業式挙行
56名の卒業生を送る。

昭和45年度

45. 4. 1 1学級増の14学級となりプレハブ2教室増築、

45. 4. 6 第1回入学式を挙行し、94名の一年生を迎えた。
45. 5. 28 PTA奉仕により校庭の植樹作業を行う。
45. 6. 15 今年度の校内研究の重点教科を体育と定め、毎月研究授業並びに研究会を行った。
45. 7. 15 日野第八小学校の校旗ができた。
45. 7. 16 25m6コースの新プールが完成し、落成式並びにプール開きを行なう。
45. 9. 7 新校歌が完成し秋の大運動会で披露した。なお作詩は米津千之、作曲は渡辺浦人によるものである。
45. 12. 20 校地のまわりの柵が完成した。
46. 3. 25 第2回卒業式挙行
67名の卒業生を送る。

2. 歴代校長

氏名 年月～年月

金子 武夫 昭和44.8～

3. 地域の環境

- ・本校は京王線の高幡不動駅と百草駅のほぼ中間の北側にある。校舎は田園の真中にあり近くに民家もなく、大自然の中で子どもたちは自由にはばたいている。通学区の最も遠いところは学校まで40分以上もかかる。
- ・遮断機のない京王線踏切、年々交通量の増す川崎街道をかかえ、交通禍の危険に

さらされているため、特に交通指導に力を入れ、地域でも事故防止に全力をあげている。

- ・父母の70%がサラリーマンで学校に協力的である。

4. 教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、つぎのような子どもを育成する。

1. 健康でたくましい子
2. 美しく、ゆたかな心の子
3. 深く考え、やりぬく子
4. 力を合わせ、はげみあう子

5. 本年度の努力点

- (1) きれいな学校
- (2) 明るいあいさつ
- (3) 正しいことば

6. 本年度指導の重点

・学習指導

- (1) あらゆる場において自主的に学習しようとする態度の育成
- (2) たくましい身体と心をきたえるための体育指導

・生活指導

- (1) 学校生活全体を通じて基本的な生活習慣を身につけさせる。
- (2) 安全な生活態度の育成をはかる。

7. 児童数(生徒数)、幼児数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	3	3	2	2	2	15
男	59	41	54	33	39	39	265
女	50	53	44	30	25	19	221
計	109	94	98	63	64	58	486

8. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研 究 教 科	そ の 他
1	金子 武夫	52	校 長	44.8. 1	音 楽	道徳主任
2	長井 新次郎	47	教 頭	44.8. 1	視 聴 覚	
3	平山 毅	37	1 - 1	45.4. 1	道 徳	道徳主任
4	喜多村 設代	25	1 - 2	44.8.16	図 工	
5	荒尾 浩子	24	1 - 3	44.8.16	算 数	特活主任
6	飯田 幸次	48	2 - 1	44.8.16	算 数	算数主任 教務主任

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
7	禰由子	38	2 - 2	44.8.16	音楽	給食主任
8	橋本允子	29	2 - 3	45.4.1	体育	
9	伏見安江	45	3 - 1	44.8.16	社会	図書主任
10	安室清治	22	3 - 2	46.4.1	国語	
11	円谷雅之助	25	3 - 3	44.8.16	体育	安全主任
12	佐藤章吾	45	4 - 1	44.8.16	社会	生活指導主任 社会科主任
13	星野照子		4 - 2	46.4.1	理科	
14	柳沼敏男	45	5 - 1	44.8.16	理科	研究主任 理科主任
15	内藤康	35	5 - 2	44.8.16	体育	体育主任
16	長浜和子	28	6 - 1	44.8.16	家庭	教育相談員
17	近藤正晴	41	6 - 2	44.8.16	国語	国語主任 保健主事
18	森川琉子	32	音楽	44.8.16	音楽	音楽主任
19	小島シヅ	57	図工	44.8.16	図工	図工主任
20	長田裕子	34	家庭	44.8.16	家庭	家庭科主任
21	伊佐弘江	35	養護	44.8.16	養護	
22	郷原敦	26	事務	44.8.16	事務	事務主事

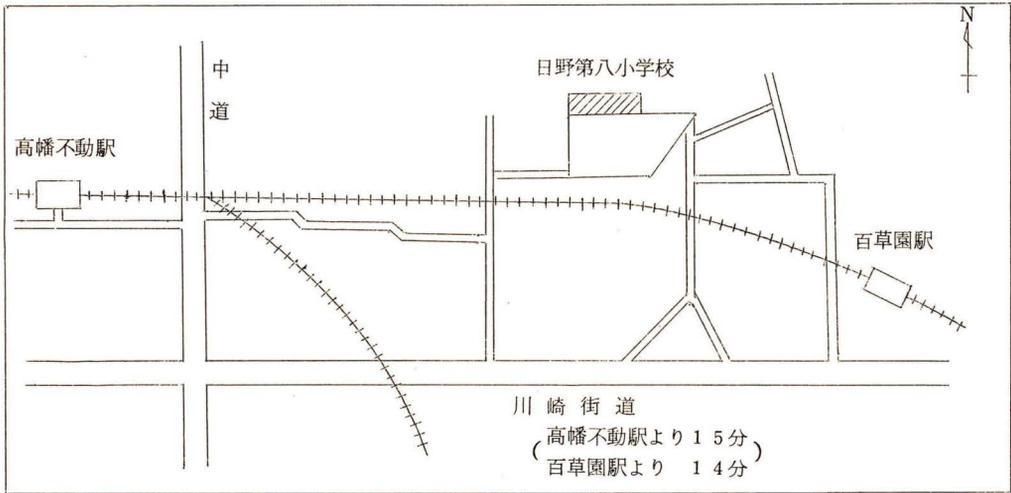
9. 本校研究主題の推移

昭和44年度	体育科の効果的指導法の研究
昭和45年度	授業の効率を高める体育指導
昭和46年度	日野市研究協力校をうけ、45年度の研究のまとめを行う。 研究テーマ 「授業の効率を高める体育指導」 〃器械運動を中心にカードの作成と活用〃

10. 保護者の職業一覧

職業分類	家庭実数	%	職業分類	家庭実数	%
専門的技術者	14	3.6	商工業従事者	33	8.6
経営管理者	18	4.7	農林漁業従事者	24	6.2
一般事務従事者	137	35.5	サービス業	4	1.0
公務員	37	9.6	その他	7	1.8
保安サービス業	10	2.6	無職	3	0.8
運輸業	27	7.0			
技術従事者	72	18.6	計	386	100

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立百草台小学校
所在地 日野市百草 999
電話 0425-91-0998
順路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて10分 百草センター下車

校長氏名 岡本省吾

教頭氏名 寺崎秋光

1. 沿革の概要

- 昭和44年8月 校舎新築工事起工
- 44.12.1 日野市立潤徳小学校百草台分校として潤徳小学校内で授業開始。
- 45.4.1 日野市立百草台小学校として新校舎に移転開校。
児童数118. 学級数8
- 45.6.1 開校記念式挙行、6月1日を開校記念日とする。
- 45.9.1 児童数296、学級数11となる。
- 46.3.8 校旗、校歌発表会を開き3月8日を制定記念日とする。
- 46.4.1 学区変更により三沢914と程久保843を加える。
- 46.4.6 児童数604 学級数16となり、プレハブ教室6教室を使用。
- 46.5 プール工事開始、7月末完成の予定。

2. 歴代校長

氏名 年月～年月
初代 岡本省吾 45年4月～

3. 地域の環境

日野市の南東部にあつて多摩丘陵に造成された百草団地と高幡台団地がおもな学区

域である。団地の内外とも起伏が多く、まわりはまだ緑が多く、静かで変化に富んだ高台である。眼下には浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野の市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日などは都塵をさけたリクレーションの人々にぎわう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

心身ともに健康で豊かな情操の持ちぬしを次の四点をとおして育成する。

- ・みんなで助け合っていることも
- ・働くことのすばらしさを身につけたことも
- ・自分から進んで正しいことをやりぬくことも
- ・人間らしいあたたかい心をもったことも。

5. 指導の重点

教科

- ・読む力、書く力を充実させるため特に国語の指導に重点をおく。
- ・体育指導を軸として強いからだをつくる。

生活指導

- ・集団生活のエチケットをきびしく教え、社会生活の秩序と協力の精神を養う。
- ・社会生活に必要な基本的言語を正しく使えるようにする。
- ・学校美化、清掃をとおして公共物愛護

と勤労の精神を養う。

道徳・特活(略)

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	3	3	2	2	1	16
男	97	71	53	38	42	27	328
女	100	54	49	44	32	16	295
計	197	125	102	82	74	43	623

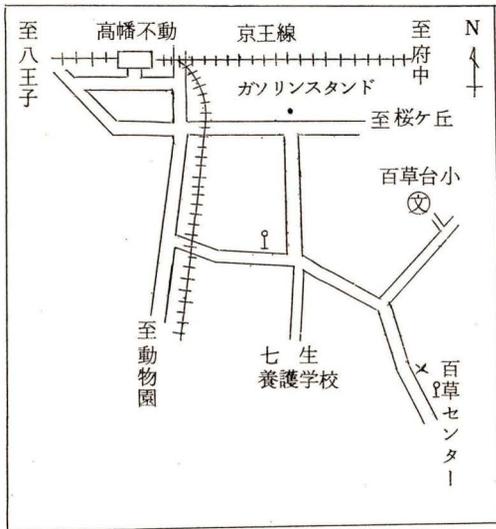
7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	岡本省吾	50	校長	45.4.1		
2	寺崎秋光	46	教 頭	45.4.1		
3	石川耀子	37	1 - 1	46.4.1	体 育	
4	幸野嘉子	44	1 - 2	46.4.1	算 数	
5	佐久間久美子	39	1 - 3	45.4.1	理 科	
6	信夫頼子	25	1 - 4	46.4.1	図 工	
7	肥高重男	43	1 - 5	45.4.1	社 会	
8	斉藤 茂	39	2 - 1	45.4.1	算 数	
9	根上節子	23	2 - 2	45.4.1	音 楽	
10	村越裕子	34	2 - 3	46.4.1	国 語	
11	荻沢モト子	43	3 - 1	45.4.1	家 庭	
12	志村二三子	22	3 - 2	46.4.1	国 語	
13	安田春信	26	3 - 3	46.4.1	体 育	
14	藤田孝彦	37	4 - 1	45.4.1	国 語	
15	菊池悦子	29	1 - 2	45.4.1	理 科	
16	村松徹二	43	5 - 1	46.4.1	理 科	
17	中村笙子	28	5 - 2	45.4.1	家 庭	
18	阿部真次	25	6 - 1	45.4.1	社 会	
19	渋谷義一	43	理 科	45.4.1	理 科	
20	稲垣昌子	28	音 楽	45.4.1	音 楽	
21	佐藤カズ子	24	図 工	45.4.1	図 工	
22	佐々木加津子	38	保 健	45.4.1		
23	川北喜美雄	24	事 務	45.4.1		

10. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	358	69.9	医 師	6	1.1
公 務 員	61	11.9	商 店 員	6	1.1
教 員	28	5.5	自 宅 商	4	0.8
運 輸	14	2.7	建 築	4	0.8
工 員	10	2.0	そ の 他	22	4.2

11. 学校に至るまでの地図



学校名 日野市立滝合小学校
 所在地 日野市平山 2720 番地
 電話 0425-83-5172・5173
 順路 京王線 平山城址公園駅下車徒歩 10 分

校長氏名 峰 岸 敬次郎

教頭氏名 磯 川 豊 一

1. 沿革の概要

昭 46.4.1 平山 2720 番地に開校
 (学校長 峰岸敬次郎
 児童 728 人 20 学級)

2. 歴代校長

峰 岸 敬次郎 昭 46.4

3. 地域の環境

- (1) 浅川の北側に点在する静かな農家をはさんで浅川より平山団地、中央線沿いに鉄道官舎が並び、新旧入りみだれた景観をもっているのが本校の学区である。
- (2) 中央線北側の住宅地域も 1 部分学区域に加わり、田んぼに囲まれた学校付近とは相対した様相をなしている。しかし、学校西側には宅地造成も始まり、やがて住宅に囲まれた学校に生まれ変わるであろう。

4. 教育目標

- (1) 健康でたくましい子ども
- (2) 勉強に努力する子ども
- (3) 進んで協力し実行する子ども
- (4) 生きものをたいせつにする子ども

5. 指導の重点

(1) 各教科

ア、発問発表のしかたを中心に聞く態度と、思考過程を重視し、自主的な学習

態度を養なう。

イ、特別教室、資料室等の利用を有効に教材教具を効果的に使用するよう指導法をくふうする。

(2) 道徳

ア、生命をたいせつにし、健康の増進、安全の保持に努める。

イ、常に希望を持ち、よりよい目標を立ててその実現に努力する。

ウ、互いに信頼し合い仲よく助け合う。

エ、やさしい心をもって動物や植物を愛護する。

(3) 特別活動

ア、新しい学習指導要領の精神にのっとり、本領域を研究しつつ実施する。

イ、健康でたくましい子ども、遊んで協力し実行する子どもの教育目標は、クラブ活動、委員会活動、学級会活動等に重視し、運営し、指導する。

(4) 生活指導の重点

ア、時間を守り、時間をたいせつにする習慣を身につけさせる。

イ、ものの価値を理解し、所有者に関係なくものをたいせつにする習慣を形成する。

ウ、子どもの登下校の指導には常に留意

し、学校と家庭の連絡を密にして安全対策、生活指導を進める。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	4	4	3 3	2	2	20
男	100	87	67	49	40	38	381
女	88	59	71	53	36	40	347
計	188	146	138	102	76	78	728

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研 究 教 科	そ の 他
1	峰 岸 敬次郎	56	校 長	46.4.1	経 営	
2	礒 川 豊 一	56	教 頭	46.4.1	経 営	
3	西 田 敦 子	32	1 - 1	46.4.1	国 語	
4	渡 辺 か ほ	35	1 - 2	46.4.1	国 語	
5	塚 本 純 子	26	1 - 3	46.4.1	国 語	
6	馬 場 昌 子	51	1 - 4	46.4.1	社 会	
7	成 井 朝 雄	42	1 - 5	46.4.1	体 育	
8	柿 沢 鎮 子	41	2 - 1	46.4.1	道 徳	
9	川 上 美穂子	34	2 - 2	46.4.1	国 語	
10	小 原 都	22	2 - 3	46.4.1	図 工	
11	溝 口 達 男	23	2 - 4	46.4.1	算 数	
12	赤 松 照 子	27	3 - 1	46.4.1	社 会	
13	橋 本 清	45	3 - 2	46.4.1	体 育	
14	伊 礼 道 子	29	3 - 3	46.4.1	社 会	
15	小笠原本江	29	3 - 4	46.4.1	理 科	
16	川 井 龍 介	27	4 - 1	46.4.1	特 活	
17	秋 野 美津子	24	4 - 2	46.4.1	音 楽	
18	清 水 輝 夫	24	4 - 3	46.4.1	道 徳	
19	村 越 正	35	5 - 1	46.4.1	理 科	
20	山 口 武 彦	39	5 - 2	46.4.1	社 会	
21	伊 藤 恵 造	45	6 - 1	46.4.1	特 活	
22	熊 谷 三 起	47	6 - 2	46.4.1	図 工	
23	鳥 飼 政 喜	47	図 - 工	46.4.1	図 工	
24	山 村 英 吾	40	音 楽	46.4.1	音 楽	

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
25	河村 順子	21	家庭	46.4.1	家庭	
26	石田 佳子	29	養護	46.4.1	保健	
27	高島 幸夫	36	事務	46.4.1	事務	

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度

教材教具を授業にもっとも有効適切に生かすには、その整備及び活用をどうしたらよいか。

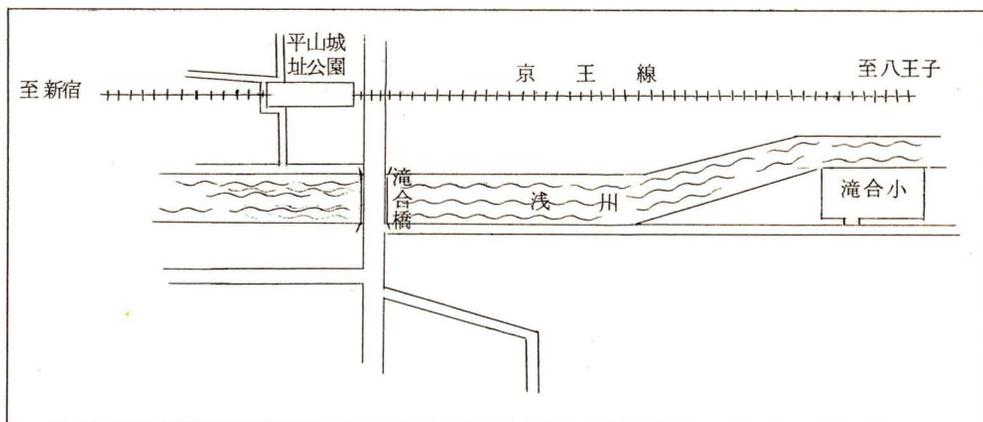
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年度	氏名	教科領域	研究員、研究生別
昭和46年度	山口 武彦	社会	都研究員

10. 保護者の職業一覧

職業	家庭数	%	職業	家庭数	%
農業	4	0.7	会社員	369	62.8
工業	15	2.6	医師	3	0.5
商業	24	4.1	会社職員	79	13.4
運輸交通業	9	1.5	その他	25	4.3
国家公務員	11	1.9	無職	2	0.3
地方公務員	47	8.0	計	588	100.0

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第一中学校
所在地 日野市日野 2614
電話 0425-81-0009
順路 国電日野駅下車 徒歩10分

校長氏名 安部 達郎

教頭氏名 高橋 太一

1. 沿革の概要

- 昭22.4.30 公立中学校として設置認可、日野中学校と称する。
- 23.3.24 第一回卒業式挙行(卒業生43名)
- 24.4.1 校歌制定
- 29.4.1 校名を日野第一中学校と改称
- 30.9.1 校舎裏田園4,000坪買収、運動場拡張
- 32.3.22 校旗制定
- 37.1.17 標準服実施の決定、37年度より実施
- 37.9.17 新校舎(鉄筋防音)落成
- 38.9.9 プール落成
- 38.11.3 日野市制施行、市立日野第一中学校となる。
- 39.5.1 特別教室完成
- 41.7.1 体育館落成
- 42.11.4 二十周年記念式典挙行
- 44.10.19 救助袋5個取付け
- 44.10.23 プレハブ校舎完成
- 46.3.17 第24回卒業式挙行(卒業生284名、通算6,295名)

2. 歴代校長

氏名	年月～年月
初代 町田勘之助	昭22.4～昭25.9(死去)
2代 飯塚 節三	25.10～ 37.3
3代 大沢 彰	37.4～ 40.3
4代 大沢 量作	40.4～ 45.3
5代 安部 達郎	45.4～ 現在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し甲州街道ぞいの宿場町として栄えて来た。近年郊外の住宅、工場(羽田ヒューム管、雪印乳業、オリエント時計)、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近農業も見られる。

なお、日野市の中心地区として、市役所警察署、郵便局、消防署等が置かれ、他に農林省、水産(淡水)研究所、蚕業研究所がある。

4. 教育目標

- (1) 進んで働き、責任を重んずる人間
- (2) 自主的精神にみち、個性豊かな人間
- (3) 心身ともに健康で明るい人間

本年度の方針

- (1) 考え、くふうし、努力する生徒
- (2) 協力し、奉仕する生徒

5. 指導の重点

・学習指導の重点

- (1) 積極的に学習する姿勢を育てる。
 - ① 発表の場や表現の機会を多くする。
 - ② 復習、予習を実行させる。
 - ③ 指導内容の精選、指導方法の改善につとめ、考える習慣を常に持たせる。
- (2) 新指導要領の研究を進め、47年度以降の教育課程を編成する。
- (3) 移行措置の徹底をはかる。

・生活指導の重点

学級の基盤の上に立った生徒会活動、生徒委員会活動を伸長する。

- (1) 教師の指導態勢を整えると共に生徒と教師の心のふれあいに努める。
- (2) 環境の美化、整備に努める。
- (3) 共同社会への貢献を自覚させる。

・進路指導の重点

個々の生徒の能力、適性の把握に努め、適切な指導を進める。

・その他

家庭との連携を深め、教師・保護者・生徒のきずなを強める。

- (1) 父母会の充実とPTA学年部との協力をはかる。
- (2) 家庭の役割についての認識を深めさせる。

6. 児童数(生徒数)、幼児数

	1 年	2 年	3 年	しあわせ学級			計
				1 年	2 年	3 年	
学級数	7	7	6	1			22
男	147	146	114	4	4	6	421
女	126	128	145	4	1	2	406
計	273	274	259	8	5	8	827

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研 究 教 科	そ の 他
1	安 部 達 郎	49	校 長	45.4.1		
2	高 橋 太 一	50	教 頭	44.1.16	理 科	
3	山 浦 宏	46	1 年 学年主任	45.4.1	社 会	
4	大 山 正 昭	41	1 - A	43.4.1	英 語	
5	山 賀 典 雄	42	1 - B	46.4.1	技 術	
6	大 山 裕 子	24	1 - C	46.4.1	社 会	
7	黒 木 利 武	45	1 - D	45.4.1	英 語	
8	福 井 温 子	44	1 - E	42.4.1	国 語	
9	岡 田 文 彦	31	1 - F	44.4.1	教 学	
10	真 船 治 美	36	1 - G	45.4.1	保 体	
11	渡 辺 和 則	32	1年所属	43.4.1	理 科	
12	西 前 佑 一	34	1年所属	36.4.1	美 術	
13	佐 藤 実 枝子	48	2 年 学年主任	43.4.1	英 語	

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
14	山本 節子	31	2 - A	41. 4. 1	数学	
15	逸見 敏	34	2 - B	46. 4. 1	美術	
16	五十嵐 公恵	39	2 - C	38. 4. 1	国語	
17	宇津木 十四男	45	2 - D	46. 4. 1	国語	図書主任
18	山川 昭子	38	2 - E	39. 4. 1	数学	
19	星 勝	33	2 - F	45. 4. 1	音楽	
20	八木 利子	26	2 - G	46. 4. 1	保体	
21	河野 寿忠	39	2年所属	40. 4. 1	理科	教務主任
22	飯島 利三	31	2年所属	38. 4. 1	技術	生活指導主任
23	市塚 正史	39	3年 学年主任	42. 4. 1	音楽	
24	阿部 敬	43	3 - A	43. 4. 1	音楽	
25	望月 慎吾	40	3 - B	42. 4. 1	社会	
26	大貫 米子	39	3 - C	44. 4. 1	国語	
27	渡辺 礼子	35	3 - D	41.10. 1	英語	
28	羽生 幸一	38	3 - E	45. 4. 1	国語	
29	井村 章三	33	3 - F	43. 4. 1	数学	
30	阿藤 貞夫	34	3年所属	44. 4. 1	保体	保健主事
31	筒井 ハル	50	3年所属	45. 4. 1	家庭	
32	小谷 澄江	22	3年所属	45. 4. 1	保健	養護
33	御子柴 昭治	44	特殊学級 3年級	. 4. 1	社会	特殊学級主任
34	森田 寿子	51	特殊学級 1年級	43. 4. 1	家庭	
35	徳丸 徳子	26	特殊学級 2年級	45. 4. 1	保体	
36	富士 堯	38		36. 4. 1	理科	都研研究生
37	武藤 保	55		45. 4. 1		主査
38	五十嵐 邦享	39		46. 4. 1	理科	市充当指導主事
39	長沢 三郎	45		27. 4. 16	数学	都教組専従
40	荒瀬 寛正	70		46. 4. 1	理科	非常勤講師
41	中野 草三郎	42		46. 4. 1	理科	〃
42	倉本 トヨ	49		44. 4. 1	家庭	〃
43	矢ヶ崎 和子	38		45. 6. 1	英語	〃
44	釣 晃敏	28		46. 4. 1	社会	〃
45	松本 勝	28		46. 4. 1	美術	特殊学級講師
46	田本 徹	33		46. 5. 1	音楽	〃

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	本校生徒の学力と学習適応性
昭和42年度	基礎学力の充実とその効果的指導法
昭和43年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和44年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和45年度	新指導要領はどのように変わるか(教科について)
昭和46年度	新指導要領はどのように変わるか(教科以外について)

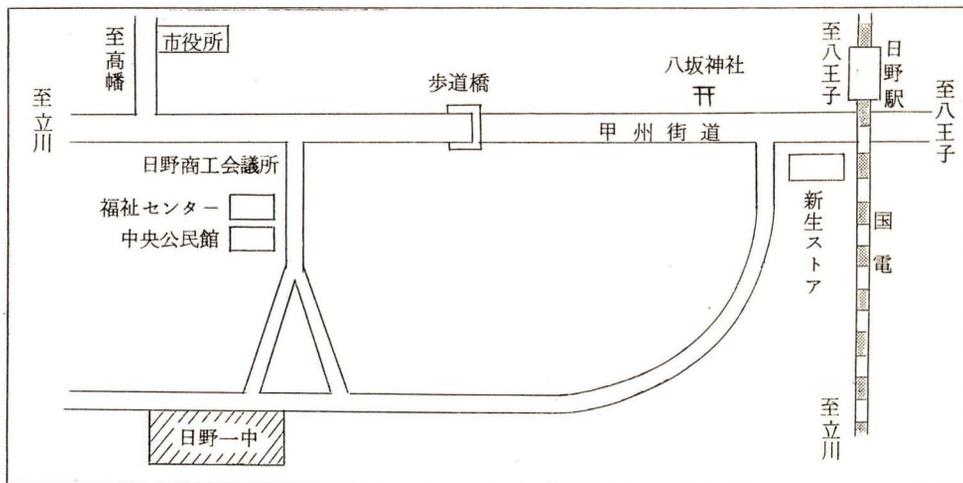
9. 都教育研究員・研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和32年度	御子柴 昭 治	社 会	研究員
昭和42年度	河 野 寿 忠	理 科	〃
昭和42年度	富 士 堯	特 活	〃
昭和44年度	市 塚 正 史	数 学	〃
昭和46年度	飯 島 利 三	技 術	〃
昭和46年度	岡 田 文 彦	進路指導	〃
昭和46年度	富 士 堯	理 科	研究生(都研)

10. 保護者の職業一覧

職 種	人 数	%	職 種	人 数	%
専門的、技術的職業	56	7	技 能 的 職 業	288	35
管 理 的 職 業	74	9	運 輸 ・ 通 信 の 職 業	45	5
事 務 的 職 業	145	18	サ ー ビ ス 的 職 業	42	5
販 売 的 職 業	61	7	無 職 そ の 他	31	4
農 業 ・ 漁 業	85	10	計	827	100%

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第二中学校
所在地 日野市多摩平4丁目5の2
電話 0425-81-0056
順路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 河村 俊一郎

教頭氏名 平 美治

1. 沿革の概要

- 昭29年 設立認可、開校式、入学式
(生徒202名)
第二期工事八教室増築落成
- 昭31年 第三期工事竣工落成
- 昭32年 第一回卒業式(卒業生204名)
- 昭33年 校旗、校歌制定
- 昭34年 産業教育研究校に指定される。
- 昭35年 特別教室(工作、調理、理科)
竣工落成
- 昭36年 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行
研究発表会
- 昭37年 プール竣工落成
- 昭38年 保健体育研究発表会
- 昭39年 普通教室3教室竣工、創立10
周年記念式典挙行
- 昭40年 体育館竣工
- 昭41年 防音校舎第一期工事完成(6教
室)
- 昭42年 防音校舎第二期工事完成(18
教室)
プール用更衣室工事完成
- 昭43年 南校舎前、境裁花 完成
体育倉庫と校庭用便所完成
- 昭44年 プール専用便所一棟完成
プレハブ一棟(一室)増設
- 昭45年 プレハブ一棟(一室)増設
- 昭46年 プレハブ一棟(二室)増設

2. 歴代校長

年月～年月

- 初代 橋本 貴一 昭29. 3.31～30. 9.30
二代 増山 恒 昭30.10. 1～41. 3. 1
三代 飯田 栄一 昭41. 4. 1～46. 3.31
四代 河村俊一郎 昭46. 4. 1～現在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき、東南部になお農業地域を残し、本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置している。

4. 教育目標

教育基本法第一条の精神にのっとり

- (1) 自ら進んで計画し、実践する自主自立の人間を育成する。
- (2) 自分自身を尊ぶと共に、他人を尊重する敬愛の精神を養う。
- (3) 仕事を愛する健康で勤勉な社会人をつくる。

5. 本年度指導の重点

- ・学習指導
自ら学びとる学習の姿勢を育成し、基礎学力の充実をはかる。
○指導法の研究
○教材の精選
- ・生活指導
組織、集団を通して自主的に判断し、行動する生活態度を養う。
○生徒会活動の推進 ○学級活動の充実

・進路指

系統的指導計画の実践を通して、自らを十分に理解し将来の進路を選択する能力を育成する。

○教育相談の推進

○諸検査、諸調査の活用

・その他

以上の目標を達成するため

- (1) 家庭との連絡を密にする。
- (2) 生徒の実態を十分に把握する。
- (3) 健康安全の保持について十分な配慮をする。
- (4) 環境整備と美化に積極的に取り組む。
- (5) 教師相互の共通理解と統一した指導態勢をつくる。

6. 児童数（生徒数）、幼児数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	11	10	9	30
男	223	182	205	610
女	244	226	189	659
計	467	408	394	1,269

7. 教職員

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	河村 俊一郎	50		46.4.1		
2	平 美 治	54		42.4.16	技 術	
3	渡 辺 勉	45	1年主任	44.4.1	数 学	進路指導主任
4	設 楽 悦 代	34	1 - 1	36.4.1	理 科	
5	中 村 功	37	1 - 2	35.4.1	理 科	
6	熊 本 まゆみ	22	1 - 3	44.4.1	家 庭	
7	大 石 幸 雄	31	1 - 4	46.4.1	保・体	
8	大 須 寿美子	32	1 - 5	37.4.1	数 学	
9	鈴 木 良 身	39	1 - 6	43.4.1	技 術	1年副主任
10	高 崎 雅 子	35	1 - 7	46.4.1	国 語	
11	橋 本 紘 一	29	1 - 8	43.4.1	英 語	
12	井 村 初 子	33	1 - 9	46.4.1	美 術	
13	小 林 節 夫	41	1 - 10	46.4.1	美 術	
14	柳 井 佐和子	30	1 - 11	42.4.1	保・体	保健主事
15	井 田 武	41	1年付	41.4.1	国 語	教務主任
16	黒 沢 谷五郎	45	◇	36.4.1	社 会	

番号	氏名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
17	山 村 泉 二	43	1 年 付	44.4. 1	社 会	
18	市 川 史 子	22	1 年 付	46.4. 1	英 語	
19	小 畑 亮	49	2年主任	42.4. 1	美 術	
20	我 妻 要	47	2 - 1	42.4. 1	国 語	
21	石 田 洋 子	24	2 - 2	46.4. 1	英 語	図 書 館 主 任
22	丸 山 尚 夫	38	2 - 3	46.4. 1	数 学	
23	萩 原 典 子	42	2 - 4	45.4. 1	家 庭	
24	成 瀬 二 郎	44	2 - 5	44.4. 1	理 科	
25	間 渕 由 紀 子	31	2 - 6	42.4. 1	音 楽	
26	渡 辺 恵 敏	35	2 - 7	46.4. 1	理 科	
27	柳 沢 美 澄	34	2 - 8	45.4. 1	英 語	
28	千 田 正 之	32	2 - 9	43.4. 1	保 体	体 育 主 任
29	荒 井 武 子	39	2 - 10	45.4. 1	社 会	
30	西 川 利 行	45	2年副主任	45.4. 1	英 語	生 活 指 導 主 任
31	北 条 義 道	59	2 年 付	39.4. 1	国 語	庶 務 部 主 任
32	六 本 木 茂	42	2 年 付	37.4. 1	社 会	
33	古 荘 斗 糸 子	31	2 年 付	45.4. 1	数 学	
34	秦 好 一	46	3年主任	42.4. 1	社 会	学 習 指 導 部 主 任
35	高 木 宏 文	37	3 - 1	41.4.16	数 学	
36	鈴 木 礼 子	34	3 - 2	42.4. 1	保 体	
37	田 中 栄 一	43	3 - 3	36.4. 1	国 語	3 年 副 主 任
38	西 村 美 紗 子	34	3 - 4	37.4. 1	音 楽	
39	稻 川 正 義	42	3 - 5	44.4. 1	理 科	
40	海 江 田 松 子	43	3 - 6	40.4. 1	数 学	
41	佐 藤 良 樹	37	3 - 7	46.4. 1	英 語	
42	梅 林 美 枝 子	29	3 - 8	43.4. 1	英 語	
43	川 渕 尚	32	3 - 9	41.4. 1	技 術	
44	原 島 弘	38	3 年 付	46.4. 1	保 体	
45	佐 藤 イ サ	40	3 年 付	40.9. 1	国 語	
46	森 紀 子	29	3 年 付	45.4. 1	社 会	
47	勝 部 節 子	23		45.4. 1	養 護	養 護 教 諭
48	中 根 健 五	29		40.7. 1	事 務	事 務 主 査
49	小 貫 隼 男	46		43.4. 1		充 当 指 導 主 事
50	広 谷 勉	62		46.4. 1	理 科	週 8 時 間
51	成 田 八 重 子	44		46.4. 1	教 学	週 8 時 間
52	高 橋 光 子	41		46.4. 1	国 語	週 8 時 間
53	深 沢 三 千 雄	34		46.4. 1	理 科	週 12 時 間
54	佐 藤 靖 子	32		46.4. 1	家 庭	週 9 時 間
55	上 田 嘉 令	25		46.4. 1	音 楽	週 16 時 間

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教科の経営について	昭和43年度	環境整備について㊦美術教育研究協力校
昭和41年度	目標と評価(初年度)	昭和44年度	環境美化について(継続)
昭和42年度	目標と評価(継続)	昭和45年度	基本的生活習慣の具体的指導について

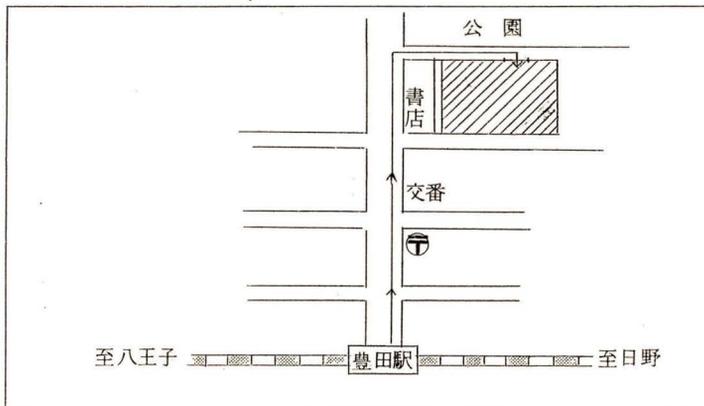
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教 科 領 域	研究員、研究生別
昭和36年度	松 本 利 雄	社 会	研 究 員
昭和36年度	中 村 忠 男	数 学	〃
昭和37年度	照 山 宗一郎	技術・家庭	〃
昭和37年度	榎 本 健 三	学校行事	〃
昭和38年度	本 間 ト ヨ	保健体育	〃
昭和39年度	松 本 利 雄	学校行事	〃
昭和40年度	福 田 慶 圀	英 語	〃
昭和45年度	西 村 美沙子	音 楽	〃
昭和46年度	高 木 宏 文	数 学	〃
昭和46年度	中 村 功	理 科	〃

10. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
技術的職業	240	20.2	運輸通信従事者	90	7.8
管理的職業	160	13.3	サービス業従事者	35	2.8
生産工程作業者	245	20.2	販売従事者	80	6.8
事務従事者	240	20.2	農 林 業	20	1.8
単 純 労 働 者	15	1.5	そ の 他	11	1.0
保安職業従事者	50	1.4	計	1,186	

11. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立七生中学校
 所在地 日野市豊田1944
 電話 0425-91-0174・0157
 順路 南平駅(京王線)下車 徒歩7分

校長氏名 羽崎 一 男

教頭氏名 田代 拳

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置
- 昭22. 5. 15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行 2部授業で発足
- 昭23. 2. 15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行
- 昭32.12. 1 P T A 結成第1回総会を挙行
- 昭23. 9. 4 新校舎完成、本日より授業開始
- 昭32.12. 1 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行
- 昭36. 7. 15 プール新設工事着工(東京都費による)
- 昭37. 7. 31 プール開きを挙行
- 昭41. 7. 1 体育館落成
- 昭41. 1. 31 鉄筋コンクリート防音校舎改築はじまり現在にいたる。
- 昭45. 3. 31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成する。
- 昭45. 4. 1 七生中学校三分校設置
- 昭45. 9. 30 日野第三中学校開校につき七生中学校三分校廃止
- 昭46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成

2. 歴代校長

氏名	年月	～	年月
飯塚 節三	昭22. 4	～	昭25. 9
増山 恒	昭25. 10	～	昭30. 10
飯島 一吉	昭30. 10	～	昭37. 3

氏名	年月	～	年月
木村 巧	昭37. 4	～	昭40. 3
芳西 幸三	昭40. 4	～	昭44. 3
羽崎 一男	昭44. 4	～	現在

3. 地域の環境

生活環境がよく生活指導にはめぐまれている。学校は京王線南平駅。中央線豊田駅この間に位置し、東西に長い学区の中央にある。地域は平坦部と山野部が略々年々を示め、学区内に明星大学、高幡不動尊、都立多摩自然動物園等の文化施設がある。

4. 教育目標

教育基本法および学校教育法の定めるところに基づき、自主、敬愛、勤勉、責任、健康の五つの教育目標と定め、これを身につけた人間の育成に努める。

5. 本年度指導の重点

- 学習指導
基礎学力の向上、
自主的学習態度の養成
- 生活指導
上記教育目標を身につけた中学生らしい生活態度の育成。生徒の非行化防止と善導、道徳、特別教育活動の効果的運営。
- 進路指導
進学、就職の両面にわたり、自己の適性を考えて進路を決定するよう指導する。
- その他
健康の保持増進、交通に対する安全教育の推進。

6. 児童数(生徒数)、幼児数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	6	5	5	16
男	112	94	110	316
女	109	109	104	322
計	221	203	214	638

7. 職員数

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	羽崎一男	55	経営	44.4.1	保体	
2	田代拳	48	経営	45.4.1	社会	
3	赤木清福	46	1年主任 A	39.4.1	国語	
4	新井教且	33	1-B	46.4.1	数学	
5	猪井詔子	25	1-C	43.4.1	英語	
6	阿部晃一	38	1-D	42.4.1	美術	
7	石井幸男	38	1-E	41.4.1	理科	
8	山本矢一	32	1-F	36.4.1	保体	
9	木下満子	39	1年所属	45.4.1	社会	
10	加藤邦子	31	1年所属	41.4.1	保体	
11	宮沢利雄	41	2年主任	45.4.1	英語	
12	戸川二美子	23	2-A	45.4.1	国語	
13	大宅寛	36	2-B	38.4.1	音楽	
14	水谷晶子	44	2-C	45.4.1	数学	
15	成舞京子	35	2-D	46.4.1	理科	
16	鈴木清司	38	2-E	41.4.1	社会	
17	中村剛紀	28	2年所属	46.4.1	美術	
18	大塚和子	23	2年所属	44.5.1	保健	
19	田中憲助	43	3年主任	37.4.1	理科	
20	松本節子	33	3-A	42.4.1	家庭	
21	明石敏春	41	3-B	41.4.1	数学	
22	白沢修	35	3-C	42.4.1	英語	
23	天野義雄	38	3-D	44.4.1	社会	
24	田端七郎	33	3-E	45.4.1	技術	
25	山辺文男	48	3年所属	43.4.1	国語	
26	佐藤良枝	48	2年所属	42.4.1	国語	
27	飯キミ	58	事務主事	22.4.30	事務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校行事等の基本的考え方について	
昭和41年度	学校行事等の調査検討	
昭和42年度	学校行事等の指導計画作成について	㊦
昭和43年度	学校と家庭の協力について(特に家庭訪問)	㊦
昭和44年度	効率を高める学級経営のすすめ方について	㊦
昭和45年度	生徒の自主性を高めるための生徒会活動のあり方について	㊦

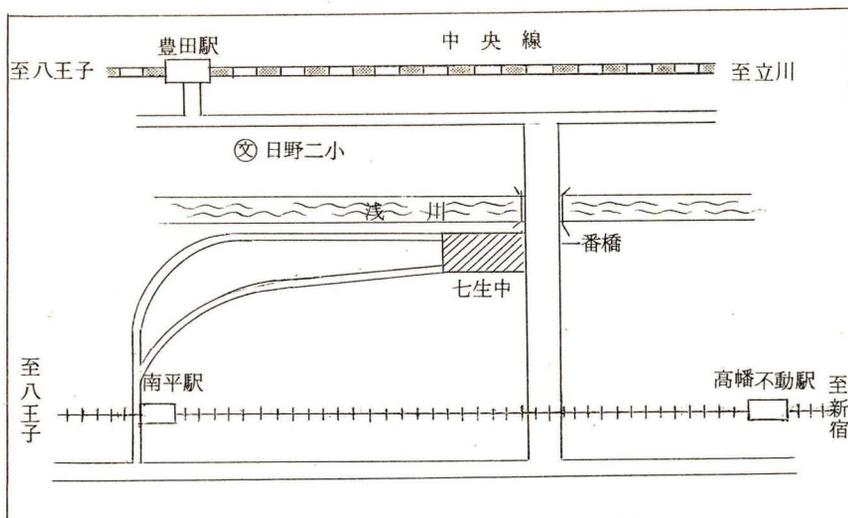
9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和34年度	出 水 操	美 術	研究員
昭和41年度	城 所 富 子	技術家庭	〃
昭和43年度	阿 部 晃 一	美 術	〃

10. 保護者の職業一覧

職 業 名	会 社 員	公 務 員	学 校 職 員	鉄 道 関 係 員	公 団 職 員	自 営 工 業	〃 商 業	〃 農 業	自 由 業	無 職	そ の 他
数	334	92	18	40	8	39	41	36	26	4	1

11. 学校に至るまでの地図



学校名 日野市立日野第三中学校

所在地 日野市程久保 650

電話 0425-91-2228

順路 京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて高幡台団地下車徒歩5分

校長氏名 橋本 敏一

教頭氏名 鈴木 邦男

1. 沿革の概要

昭45.4.1 日野市立七生中学校日野第三分校として七生中学校内で授業開始。生徒数26名 職員数12名。

昭45.7.7 プール建設工事着工
(日野市程久保650)

昭45.9.4 校舎新築工事着工(全上)

昭45.10.1 日野市立日野第三中学校開校
七生中学校内で授業。生徒数44名、職員数14名、百草団地、高幡台団地を学区とする。

昭45.10.28 プール工事竣工

昭46.3.27 校舎新築工事竣工

昭46.4.1 学区変更 程久保地区全部三沢地区上中を加える。日野市程久保650番地の新校舎に移転

2. 歴代校長

氏名 年月 年月

初代 橋本 敏一 昭45.9～

3. 地域の環境

本学の学区は、日野市南部の多摩丘陵地帯に位置し、日本住宅公団の百草団地、高幡台団地と民間分譲地の三井団地、電建団地、西武団地および在来の集落である程久保、三沢をふくんだ人口急増のベッドタウンである。

起伏が多く林に囲まれた静かな高台で、眼下には浅川が流れ、はるかに武蔵野台地を一望に見渡すことができる。学区内に

都立多摩動物公園、明星大学があり、よい環境である。住民の多くは各地より最近移住した者で、その大半は都心へ通勤するサラリーマンである。

4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人となる。

(1) 基礎学力を充実し、文化を創造する人となろう。

(2) 豊かな心を養い、力を合せて進もう。

(3) 若人らしい気力、体力を養おう。

5. 本年度指導の重点

(1) 学習指導

①学習環境を整備し、その活用をはかる。

②生徒ひとりひとりの学習意欲を高める。

(2) 生活指導

①学級活動の充実をはかり、集団としての質を高める。

②生徒会の育成につとめ、生徒の自治能力を高める。

(3) 進路指導

自己の適性、環境を理解し、自己を発揮できる進路を選ぶ能力を身につけさせる。

(4) その他

①自己の健康状態を自ら点検する習慣を身につけさせる。

②健康を守り、明るい生活を送るため、環境、施設の管理、利用の習慣を身につけさせる。

6. 生徒数

学 年	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	3	3	1	7
男	57	45	14	116
女	58	47	9	114
計	115	92	33	230

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研 究 教 科	そ の 他
1	橋 本 敏 一	47	校 長	45. 9. 9	国 語	
2	鈴 木 邦 男	45	教 頭	45. 9. 16	理 科	
3	内 藤 由 紀 子	33	1 - 1	45. 10. 1	英 語	
4	佐 藤 恒	39	1 - 2	45. 10. 1	美 術	
5	河 野 裕 香	37	1 - 3	45. 10. 1	音 楽	
6	持 田 友 宏	36	1 年	45. 10. 1	社 会	
7	北 原 景 昭	37	1 年	45. 10. 1	保 体	
8	遠 藤 仁	37	2 - 1	45. 10. 1	英 語	
9	鈴 木 幸 子	40	2 - 2	45. 10. 1	数 学	
10	吉 田 克 己	40	2 - 3	46. 4. 1	国 語	
11	長 島 寿 平	47	2 年	45. 10. 1	理 科	
12	佐 藤 寿 枝	31	2 年	45. 10. 1	家 庭	
13	東 郷 隆 盛	44	3 - 1	45. 10. 1	国 語	
14	桜 井 絢 子	33	3 年	46. 4. 1	保 体	
15	畔 蒜 健 一	49	3 年	45. 10. 1	技 術	
16	佐 藤 博 助	50	事務主査	45. 10. 1	事 務	
17	鈴 木 正 美	42	非常勤講師	46. 4. 1	社 会	
18	小 笠 原 和 子	36	◇	46. 4. 1	数 学	
19	古 山 美 智 子	28	◇	46. 4. 1	数 学	
20	内 田 功	31	◇	46. 5. 1	理 科	

9. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和46年度	東 郷 隆 盛	国 語	研 究 員

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的、技術的職業	35	15.6	運輸通信などの職業	4	1.8
管 理 的 職 業	24	10.6	サービシ的 職 業	18	8.0
事 務 的 職 業	99	44.0	無 職 . そ の 他	5	2.2
販 売 的 職 業	13	5.8			
農 業 漁 業 な だ の 職 業	6	2.7			
技 能 的 職 業	21	9.3	計	225	100

11. 学校に至るまでの地図

